

令和 7 年 度

事業概要

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田県支部

日本赤十字社 ミッションステートメント

(Mission statement)

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目 次

1	役 員 等	1
2	評議員会・監査等	3
3	地区・分区関係	4
4	活動資金の収納状況	6
5	国際活動	9
6	災害救護事業等	11
7	救急法・健康生活支援講習等の普及	22
8	赤十字奉仕団等	38
9	青少年赤十字（J R C）	61
10	広報・普及活動	66
資料	令和 7 年度日本赤十字社秋田県支部歳入歳出決算概要	70
11	医療事業	71
12	血液事業	76
13	乳児院の運営	82
資料	令和 7 年度秋田赤十字乳児院歳入歳出決算概要	84
14	日本赤十字社秋田県支部現勢	85

1 役 員 等

(令和 8 年 3 月31日現在)

1 支部役員・本社理事並びに代議員

役 職 名	氏 名
支 部 長	鈴 木 健 太
副 支 部 長	神 部 秀 行
	齊 藤 滋 宣
監 査 委 員	芦 田 晃 輔
	佐 藤 敬
理 事	野 口 良 孝
代 議 員	江 畑 佳 明
	黒 崎 義 雄
	齊 藤 正 子
	田 口 昇

2 評議員

地 区 別	氏 名
鹿 角 市	笹 本 真 司
大 館 市	日 景 隆
	佐 藤 かよ子
北 秋 田 市	津 谷 永 光
能 代 市	鎌 田 耕 次
男 鹿 市	菅 原 広 二
潟 上 市	鈴 木 雄 大
秋 田 市	黒 崎 義 雄
	渡 邊 達 夫
	川 村 豊 太
	石 黒 和 雄
	金 子 真 悟
由 利 本 荘 市	湊 貴 信
	三 浦 徳 久
に か ほ 市	須 田 登美雄
大 仙 市	今 野 功 成
	木 村 孝 臣
仙 北 市	田 口 知 明
横 手 市	高 橋 大
	小 野 タヅ子
湯 沢 市	佐 藤 一 夫
北	小 林 悦 次
山 本	佐々木 文 明
中 央	荒 川 滋
南	松 田 知 己
支 部 長 選 出	齊 藤 正 子
	江 畑 佳 明
	田 口 昇
	柳 沼 宣 之

3 赤十字奉仕団秋田県支部委員会

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏 名	所属奉仕団	選 出 区 分
委員長	齊 藤 正 子	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
副委員長	佐 藤 明 子	大館市大館赤十字奉仕団	
	佐 竹 睦 子	秋田市赤十字奉仕団	
	赤 川 和 子	仙北市角館町赤十字奉仕団	
	八 代 千 春	秋田県赤十字災害救護奉仕団	特殊奉仕団委員長
委 員	嶋 田 陽 子	横手市赤十字奉仕団	地域奉仕団委員長
	佐 藤 美保子	由利本荘市由利赤十字奉仕団	
	吉 田 萬里子	男鹿市赤十字奉仕団	
	戸 部 緑	湯沢市赤十字奉仕団	
	木 村 孝 臣	大仙市神岡赤十字奉仕団	
	長 内 昭 継	鹿角市赤十字奉仕団	
	松 橋 セツ子	北秋田市森吉赤十字奉仕団	
	こだま 祥子	潟上市赤十字奉仕団	
	村 上 和 美	にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	
	小笠原 シゲ子	小坂町赤十字奉仕団	
	堀 田 キミ子	三種町八竜赤十字奉仕団	
	澤田石 美恵子	五城目町赤十字奉仕団	
	村 上 與 子	羽後町赤十字奉仕団	
	三 浦 泰 輔	秋田県青年赤十字奉仕団	県青年奉仕団連絡協議会
	吉 田 圭 子	秋田県点訳赤十字奉仕団	特殊奉仕団委員長
	中 村 久 夫	秋田県赤十字芸能奉仕団	
	石 川 和 男	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	
	三 森 幹 男	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	
	田 口 昇	秋田県赤十字救急法奉仕団	
	羽 川 誠	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	

2 評 議 員 会 ・ 監 査

1 評議員会

評議員会を次のとおり開催した。

(1) 第1回目

期 日 6月11日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階「特別会議室」

出席評議員 12人

審 議

- ・議案第1号 令和6年度一般会計歳入歳出決算
- ・議案第2号 令和6年度医療施設特別会計歳入歳出決算
- ・議案第3号 令和6年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算監査報告
- ・議案第4号 副支部長・監査委員の選出

※議案第1号から議案第3号まで原案どおり承認された。

報告事項

「ちいきつながり隊の活動について」

(2) 第2回目

期 日 3月11日

会 場 秋田赤十字病院 2階「多目的ホール」

出席評議員 13人

審 議

- ・議案第1号 令和8年度事業計画
- ・議案第2号 令和8年度一般会計歳入歳出予算
- ・議案第3号 令和8年度医療施設特別会計歳入歳出予算
- ・議案第4号 令和8年度社会福祉施設特別会計歳入歳出予算

※議案第1号から議案第4号まで原案どおり承認された。

2 監査

(1) 監査委員監査

監査対象施設	期 日	場 所	監 査 者
支 部	5月28日	秋田県社会福祉会館 9階第2会議室	支部監査委員
病 院			
血液センター			
乳 児 院			

(2) 監査法人による実地監査

調査対象施設	期 日	場 所	調 査 者
支 部	1月6日、7日	支 部 研 修 室	あずさ監査法人(4人)

3 地区・分区関係

1 地区・分区の概況

(令和8年3月31日現在)

地区・分区名	地区・分区長名	行政職名等	市町村における赤十字担当課等	
			名 称	電話番号
秋 田 市	沼 谷 純	市 長	福祉総務課	018-888-5661
能 代 市	齊 藤 滋 宣	市 長	社会福祉協議会	0185-52-3335
横 手 市	高 橋 大	市 長	社会福祉課	0182-35-2132
大 館 市	石 田 健 佑	市 長	福祉課	0186-42-8100
男 鹿 市	菅 原 広 二	市 長	社会福祉協議会	0185-23-2772
湯 沢 市	佐 藤 一 夫	市 長	福祉課	0183-73-2122
鹿 角 市	笹 本 真 司	市 長	社会福祉協議会	0186-23-2165
由利本荘市	湊 貴 信	市 長	福祉支援課	0184-24-6315
潟 上 市	鈴 木 雄 大	市 長	社会福祉課	018-853-5314
大 仙 市	老 松 博 行	市 長	社会福祉課	0187-63-1111
北 秋 田 市	津 谷 永 光	市 長	福祉課	0186-62-6637
に か ほ 市	市 川 雄 次	市 長	社会福祉協議会	0184-43-2543
仙 北 市	田 口 知 明	市 長	社会福祉協議会	0187-54-2493
小 坂 町	細 越 満	町 長	福祉課	0186-29-3925
上小阿仁村	小 林 悦 次	村 長	社会福祉協議会	0186-77-3057
藤 里 町	佐々木 文 明	町 長	社会福祉協議会	0185-79-2848
三 種 町	田 川 政 幸	町 長	福祉課	0185-85-2190
八 峰 町	堀 内 満 也	町 長	福祉保健課	0185-76-4608
五 城 目 町	荒 川 滋	町 長	社会福祉協議会	018-852-5192
八 郎 潟 町	畠 山 菊 夫	町 長	社会福祉協議会	018-875-3871
井 川 町	齋 藤 多 聞	町 長	社会福祉協議会	018-874-2611
大 潟 村	高 橋 浩 人	村 長	社会福祉協議会	0185-45-2840
美 郷 町	松 田 知 己	町 長	福祉保健課	0187-84-4907
羽 後 町	佐々木 康 寛	町 長	社会福祉協議会	0183-62-5313
東 成 瀬 村	備 前 博 和	村 長	社会福祉協議会	0182-47-2700
北	小 柳 和 己	北福祉事務所長	企画福祉課	0186-52-3955
山 本	千 葉 俊 彦	山本福祉事務所長	企画福祉課	0185-55-8023
中 央	工 藤 央	中央福祉事務所長	企画福祉課	018-855-5171
南	松 田 千 賀 子	南福祉事務所長	企画福祉課	0182-32-3294

2 地区・分区関係会議等

(1) 事務担当者会議

期 日 4月16日

会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

出席者数 41人

議 題 等 ・令和6年度事業報告
・令和7年度事業計画
・赤十字会員増強運動について
・地域包括ケアシステムへの貢献について

(2) 新任事務担当者研修会

期 日 8月19日

会 場 秋田県社会福祉会館 9階第3会議室

出席者数 6人

(3) 事業実態調査

期 日 令和8年1月～2月

対 象 横手市地区、湯沢市地区、大仙市地区、仙北市地区、
美郷町分区、羽後町分区、東成瀬村分区、

会 場 各地区・分区

4 活動資金の収納状況

1 一般活動資金

(1) 会員数（協力会員を含む）及び活動資金額前年度実績比較

区 分		会 員 数			活 動 資 金 額		
		6 年度実績	7 年度実績	増 減	6 年度実績 円	7 年度実績 円	増 減 円
1	秋 田 市	11,944	13,444	1,500	22,388,663	21,917,497	△ 471,166
2	能 代 市	3,480	3,153	△ 327	5,426,971	5,203,170	△ 223,801
3	横 手 市	11,201	10,894	△ 307	12,050,740	11,605,440	△ 445,300
4	大 館 市	6,971	6,568	△ 403	5,787,275	5,548,925	△ 238,350
5	男 鹿 市	7,560	7,888	328	5,508,700	5,359,600	△ 149,100
6	湯 沢 市	12,194	11,893	△ 301	6,097,510	5,946,950	△ 150,560
7	鹿 角 市	7,641	7,304	△ 337	4,002,750	3,863,600	△ 139,150
8	由利本荘市	17,272	16,727	△ 545	12,962,840	12,582,350	△ 380,490
9	潟 上 市	1,650	1,971	321	3,291,800	3,226,350	△ 65,450
10	大 仙 市	15,735	14,768	△ 967	12,206,650	11,700,150	△ 506,500
11	北 秋 田 市	7,407	7,120	△ 287	7,825,950	5,599,300	△ 2,226,650
12	にかほ市	5,550	5,410	△ 140	4,687,240	4,612,650	△ 74,590
13	仙 北 市	6,034	6,132	98	4,865,066	4,890,924	25,858
14	小 坂 町	1,648	1,617	△ 31	1,069,100	1,080,200	11,100
15	上小阿仁村	575	552	△ 23	458,700	444,200	△ 14,500
16	藤 里 町	994	969	△ 25	729,100	706,700	△ 22,400
17	三 種 町	3,094	2,892	△ 202	2,652,240	2,499,450	△ 152,790
18	八 峰 町	2,318	2,283	△ 35	1,622,960	1,598,100	△ 24,860
19	五 城 目 町	2,648	2,528	△ 120	2,120,701	2,087,844	△ 32,857
20	八 郎 潟 町	1,714	1,663	△ 51	1,297,300	1,262,900	△ 34,400
21	井 川 町	1,262	1,250	△ 12	896,300	883,300	△ 13,000
22	大 潟 村	809	810	1	582,053	599,126	17,073
23	美 郷 町	4,584	4,502	△ 82	4,494,000	4,419,700	△ 74,300
24	羽 後 町	4,007	3,941	△ 66	2,545,330	2,545,850	520
25	東 成 瀬 村	689	689	0	688,600	686,950	△ 1,650
	本社口座振替	42	39	△ 3	691,000	631,000	△ 60,000
	計	139,023	137,007	△ 2,016	126,949,539	121,502,226	△ 5,447,313
	支 部 扱	1,229	1,244	15	186,196,786	12,114,298	△ 174,082,488
総 計		140,252	138,251	△ 2,001	313,146,325	133,616,524	△ 179,529,801

(2) 会員数（協力会員含む）及び活動資金額実績

区 分	会 員 数 等				寄付 件数 件	活 動 資 金 額				
	目 標 会員数 (A)	7年度 実 績 (B)	千円以上 会員実績 (C)	C／B %		目 標 額 (D) 円	会 費 (E) 円	寄 付 金 (F) 円	活動資金実績 (E＋F) 円	平均会費額 (E／B) 円
1 秋 田 市	15,408	13,444	3,071	23	12,298	22,998,700	11,287,529	10,629,968	21,917,497	840
2 能 代 市	4,317	3,153	130	4	394	5,640,500	1,785,350	3,417,820	5,203,170	566
3 横 手 市	11,730	10,894	282	3	803	12,238,000	7,813,020	3,792,420	11,605,440	717
4 大 館 市	7,392	6,568	578	9	242	6,322,600	3,767,100	1,781,825	5,548,925	574
5 男 鹿 市	8,173	7,888	626	8	2	5,661,500	5,354,200	5400	5,359,600	679
6 湯 沢 市	12,605	11,893	0	0	0	6,312,800	5,946,950	0	5,946,950	500
7 鹿 角 市	7,936	7,304	241	3	175	4,170,500	3,811,100	52,500	3,863,600	522
8 由利本荘市	17,623	16,727	1,640	10	569	13,291,600	12,152,500	429,850	12,582,350	727
9 潟 上 市	1,952	1,971	4	0	79	3,506,000	966,350	2,260,000	3,226,350	490
10 大 仙 市	16,655	14,768	5,097	35	505	12,843,500	10,797,200	902,950	11,700,150	731
11 北 秋 田 市	7,689	7,120	2,763	39	51	6,113,500	5,589,350	9,950	5,599,300	785
12 に か ほ 市	6,077	5,410	71	1	1,198	4,915,100	3,778,200	834,450	4,612,650	698
13 仙 北 市	6,433	6,132	2,689	44	261	5,017,200	4,798,000	92,924	4,890,924	782
14 小 坂 町	1,642	1,617	81	5	40	1,078,300	1,068,200	12,000	1,080,200	661
15 上小阿仁村	607	552	200	36	0	484,200	444,200	0	444,200	805
16 藤 里 町	1,009	969	88	9	0	743,000	706,700	0	706,700	729
17 三 種 町	3,180	2,892	1,604	55	125	2,819,400	2,457,300	42,150	2,499,450	850
18 八 峰 町	2,351	2,283	0	0	0	1,646,400	1,598,100	0	1,598,100	700
19 五 城 目 町	2,704	2,528	2	0	120	2,198,400	2,024,800	63,044	2,087,844	801
20 八 郎 潟 町	1,724	1,663	75	5	0	1,310,600	1,262,900	0	1,262,900	759
21 井 川 町	1,237	1,250	172	14	1	890,700	883,000	300	883,300	706
22 大 潟 村	809	810	26	3	3	607,000	588,800	10326	599,126	727
23 美 郷 町	4,629	4,502	4,326	96	3	4,580,000	4,415,000	4,700	4,419,700	981
24 羽 後 町	4,070	3,941	0	0	0	2,595,300	2,545,850	0	2,545,850	646
25 東 成 瀬 村	702	689	637	92	0	698,300	686,950	0	686,950	997
本社口座振替	0	39	39	100	0	0	631,000	0	631,000	16,179
計	148,654	137,007	24,442	18	16,869	128,683,100	97,159,649	24,342,577	121,502,226	709
支 部 扱	0	1,244	980	79	47	0	8,033,085	4,081,213	12,114,298	6,457
総 計	148,654	138,251	25,422	18	16,916	128,683,100	105,192,734	28,423,790	133,616,524	761

2 法人活動資金（指定寄付金含む）

協力法人数	活動資金額 円	内 訳		
		金 額 円	法 人 数	割 合 %
573	20,029,869	100万円以上	2	0.35
		50万円以上	4	0.70
		20万円以上	9	1.57
		10万円以上	11	1.92
		5 万円以上	35	6.11
		3 万円以上	240	41.88
		1 万円以上	231	40.31
		1 万円未満	41	7.16

3 過去 5 年間の活動資金並びに会員数（協力会員含む）の推移

(1) 一般活動資金（個人指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	会 員 数	前 年 度 比 %
3	149,502,075	97.5	162,582	99.3
4	144,907,539	96.9	157,490	96.8
5	139,241,035	96	149,925	95.1
6	313,146,325	224.8	140,252	93.5
7	133,616,524	42.6	138,251	98.5

(2) 法人活動資金（指定寄付金含む）

年 度 別	収 納 実 績 円	前 年 度 比 %	法 人 数	前 年 度 比 %
3	23,489,749	126.1	624	92.0
4	19,903,698	84.7	664	106.4
5	31,310,879	157.3	640	96.3
6	18,200,456	58.1	565	88.2
7	20,029,869	110.0	573	101.4

5 国 際 活 動

1 日赤第1ブロック共同開発協力支援事業の実施状況

人道ニーズへの支援として、自然災害や交通事故が多発している国や学校等における衛生環境改善、災害リスク軽減のニーズが高い国に対する資金援助協力を日赤第1ブロック（北海道・東北）合同の国際活動として実施した。

1) 資金援助協力の状況

ラオス	救急法普及支援事業	128,000円
バヌアツ	青少年赤十字海外支援事業	129,000円
ルワンダ	気候変動等レジリエンス強化事業	129,000円
アフガニスタン	気候変動対策事業	129,000円
（※各事業に対し、日赤第1ブロック全体でそれぞれ1,500,000円を支援）		
秋田県支部負担計		515,000円
（※日赤第1ブロック全体で6,000,000円を支援）		

2 ルワンダにおける国際活動の普及啓発実施状況

令和5年度に支部職員による国際活動事業地（ルワンダ）の視察を通じて得た知見や現地駐在員との関係性を活用し、次のとおり日赤が実施している国際活動の普及を行った。

期日	主催者	受講者別	人数 (人)	時間 (時間)
5月27日	秋田県青少年赤十字 指導者協議会	青少年赤十字指導者	8	0.25
6月18日	秋田県青少年赤十字 賛助奉仕団	奉仕団員	13	0.5
6月22日	秋田県高等学校 青少年赤十字協議会	青少年赤十字メンバー	9	0.5
9月6日	日本赤十字東北看護大学・ 介護福祉短期大学部	大 学 生	11	0.5
計			41	1.75

3 「NHK海外たすけあいキャンペーン」の実施状況

12月1日～25日のキャンペーン期間中、銀行等で受付を行ったほか、NHK秋田放送局ロビーに受付窓口を設け救援金を募集した。

また、全県一斉街頭募金を行い、全県各地で奉仕団員が募金を呼び掛けた。

「全県一斉街頭募金」

参加奉仕団数 26団（青少年赤十字加盟校高校生を含む）

街頭募金額実績 689,230円

4 海外救援金の受付状況

(令和8年3月31日現在)

名 称	件数 (件)	金額 (円)
無指定海外救援金	3	300,263
中東人道危機救援金	3	130,000
バングラデシュ南部避難民救援金	2	4,377
ウクライナ人道危機救援金	13	276,762
2025年ミャンマー地震救援金	12	173,301
2025年アフガニスタン地震救援金	3	3,805
2025年パキスタン洪水救援金	4	11,824
NHK海外たすけあいキャンペーン	210	1,479,423
計	250	2,379,755

6 災害救護事業等

1 災害救護活動

(1) 令和7年8月19日からの大雨災害救護活動の実施状況

ア 大雨の概況（秋田地方気象台災害時気象資料より抜粋）

低気圧がオホーツク海へ進み、低気圧からのびる前線が21日にかけて東北地方をゆっくり南下し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、東北日本海側を中心に大気の状態が非常に不安定となった。県内では、19日から21日にかけて、断続的に激しい雨や非常に激しい雨が降った所があり、仙北市桧木内で総降水量319.0ミリを観測するなど、平年の8月の月降水量を上回った所があった。なお、仙北市桧木内では、48時間降水量319.0ミリ、72時間降水量319.0ミリを観測し、ともに観測史上1位の値を更新した。県のまとめによると、能代市、大館市、鹿角市、北秋田市、仙北市、上小阿仁村で、住家の半壊や床上・床下浸水などが発生した。仙北市では桧木内川、北秋田市では摩当川、前山川、旧小猿部川、蟹沢川、能代市では悪土川が氾濫した。また、土砂流入や道路損壊、冠水等により、小坂町、仙北市、北秋田市、鹿角市、能代市では、道路が一時全面通行止めとなった所もあった（9月8日13時00分現在）。

イ 県内の被害状況（秋田県防災ポータルサイト：令和7年10月3日現在）

人的被害：0人				住家被害：106棟				
死 者	負 傷 者			全 壊	半 壊	床 上 浸 水	床 下 浸 水	一 部 破 損
	重傷	軽傷	小計					
0	0	0	0	0	18	3	85	0

ウ 秋田県支部の対応

・救援物資の配布

配布先	毛布	緊急セット
日赤仙北市地区	50枚	18セット

(2) 県内各地で発生した火災・水害等の被災者に対して、次のとおり日赤地区・分区を通じて救援物資・災害見舞金を贈った。

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

区 分	救 援 物 資			見 舞 金 円
	毛 布 (枚)	緊急セット (個)	安眠セット (個)	
秋 田 市	—	—	3	170,000
能 代 市	88	35	—	110,000
横 手 市	6	9	—	130,000
大 館 市	8	4	—	120,000
男 鹿 市	1	1	—	20,000
湯 沢 市	—	4	—	160,000
鹿 角 市	—	—	—	60,000
由利本荘市	15	5	—	70,000
潟 上 市	—	—	—	—
大 仙 市	7	1	—	60,000
北秋田市	4	4	—	70,000
にかほ市	—	—	—	—
仙 北 市	30	17	—	—
小 坂 町	—	—	—	—
上小阿仁村	—	—	—	—
藤 里 町	1	—	—	—
三 種 町	16	1	24	20,000
八 峰 町	—	—	—	—
五城目町	7	—	—	—
八郎潟町	—	—	—	—
井 川 町	—	—	—	10,000
大 潟 村	—	—	—	—
美 郷 町	1	1	—	—
羽 後 町	—	—	—	10,000
東成瀬村	—	—	—	—
計	184	82	27	1,010,000

2 訓練・研修会の実施状況

災害救護訓練等

訓 練 名	期 日	場 所	主 催 者	人数	内 訳
日赤災害医療 コーディネート 研修会	① 8月30日 ～31日 ② 9月26日 ～27日 ③ 11月1日 ～2日	東 京 都 港 区	日本赤十字社 本 社	3	コーディネーター 2、 コーディネートスタッ フ 1
こころのケア指導者 養成研修会	10月22日 ～23日			1	病院
こころのケア指導者 フォローアップ研修会	3月1日	Web 形式		11	支部 1、病院10
第 1 ブロック支部 合同災害救護訓練	10月10日 ～11日	秋 田 市 男 鹿 市	北海道・東北 の道県支部	29	支部 9、コーディネー トスタッフ 6、運営 スタッフ 11、防災ボ ランティア 3
第 1 ブロック支部 日赤災害医療コーディ ネーター連絡会	9月29日	Web 形式		5	コーディネーター 4 支部 1
第 1 ブロック赤十字 救護班研修会	8月9日 ～10日	宮 城 県 石 巻 市		8	救護班 4 指導スタッフ 3 指導スタッフ候補 1
こころのケア研修会	7月10日	秋 田 市	日赤秋田県支部	11	病院 9 血液センター 2
災害対策本部要員研修	9月9日			6	支部
雄物川総合水防演習	5月25日	大 仙 市	湯沢河川 国道事務所 秋 田 県 大 仙 市	6	支部 1、救護班 5
秋田県総合防災訓練	8月31日	小 坂 町	秋 田 県 鹿 角 市 小 坂 町	11	支部 1、救護班 7 病院ファシリテーター 1 防災ボランティア 2
孤立集落把握・支援訓練	9月23日	男 鹿 市	内 閣 府 秋 田 県 男 鹿 市	5	支部 1、救護班 4
秋田県冬期防災訓練	1月31日	美 郷 町	秋 田 県 美 郷 町	9	救護班 8 病院ファシリテーター 1
秋田市総合防災訓練	8月29日	秋 田 市	秋 田 市	8	支部 1、救護班 6 病院ファシリテーター 1

3 臨時救護

各種団体が開催する公的行事に、次のとおり看護師を派遣した。

派遣期日	行事の名称	派遣場所	派遣延べ 人 数	取扱患者数
7月15日	令和7年度海難救助訓練大会	由利本荘市	看護師1	0
9月3日	第38回秋田県高齢者8人制バレーボール親睦交流大会	秋田市	看護師1	0
10月9日	第62回秋田県老人クラブ大会	秋田市	看護師1	0
計	3回(延3日)	看護師3人		0

4 防災教育事業の実施状況

(1) 「赤十字防災セミナー」の実施状況

内容

- ①災害への備え
- ②地域で防災マップを作ろう
- ③被災者体験談から学ぼう
- ④家庭内の危険を探そう
- ⑤避難所運営を体験しよう
- ⑥炊き出し

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
秋 田 市	6月11日	秋田赤十字病院	赤 十 字 関 係 者	18	2	(病)竹澤・ 今野・三浦則
	6月14日	秋田市松崎団地町内会	一 般	45	1	(ボ)竹内
	7月7日	飯島地区社会福祉協議会	一 般	58	1.5	(支)碓谷 (ボ)竹内 佐々木靖
	7月24日	結核予防会秋田県支部 結核予防婦人会秋田連合会	一 般	203	1.5	(支)菊地・川上 (ボ)竹内 佐々木靖・藤村
	8月19日	日赤秋田県支部	地区・分区 担 当 者	6	1.5	(支)須藤 (ボ)藤村
	10月19日	秋田市四ツ小屋末戸松本町内会	一 般	46	1.5	(ボ)渡辺有
	10月25日	秋田市広面二階堤町内会	一 般	30	2	(ボ)竹内
	11月27日	白百合学童保育クラブ	児 童 職 員	52	1	(ボ)藤村
	11月29日	秋田県青少年交流センター	学 生 職 員	7	1	(ボ)竹内
	12月14日	秋田市將軍野東花園町町内会	一 般	30	1	(ボ)高橋邦
	12月20日	秋田市女性消防団	一 般	25	1.5	(ボ)渡辺有
	2月26日	秋田県地質調査業協会	一 般	30	1	(ボ)藤村
	3月8日	秋田市広面二階堤町内会	一 般	18	2	(ボ)竹内 佐々木靖・藤村
	3月28日	秋田市新藤田町内会	一 般	20	1	(ボ)竹内

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
能 代 市	9月30日	能代市ボランティアセンター	一 般	11	1.5	(ボ)竹内
横 手 市	11月19日	横手市大雄地区交流センター運営協議会	一 般	36	1	(ボ)竹内
由 利 本 荘 市	11月 8 日	由利本荘市西目赤十字奉仕団	奉 仕 団	40	2	(ボ)竹内
湯 沢 市	6月11日	秋田県立湯沢翔北高等学校	生 徒	20	3	(支)稲岡・碓谷 (ボ)高橋里 渡部健
	8月29日	日赤湯沢市地区	一 般	28	2	(ボ)銭谷
	9月 7 日	湯沢市幡野地区自治協議会	一 般	40	1.5	(ボ)高橋邦
潟 上 市	2月11日	潟上市役所	一 般	29	1.5	(ボ)竹内 村上
大 仙 市	4月11日	JA 秋田おばこ大仙市西部エリア女性部	一 般	50	1	(ボ)高橋邦
	6月15日	大仙市本郷集落会	一 般	40	1	(ボ)高橋邦 三森
	11月16日	大仙市中仙赤十字奉仕団	奉 仕 団	44	2	(ボ)竹内
	11月19日	日赤大仙市地区太田分区	奉 仕 団	26	1.5	(ボ)高橋邦 佐藤美
	11月22日	大仙市立中仙公民館鶯野分館	一 般	30	2	(ボ)高橋邦 佐々木靖
鹿 角 市	6月17日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	15	1	(ボ)長内
	8月22日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	39	1	(ボ)長内
	8月27日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	46	1	(ボ)長内
	9月11日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	20	1	(ボ)長内
	10月 6 日	鹿角市沢尻自治会	一 般	11	1	(ボ)長内
	10月19日	鹿角市高市自治会	一 般	40	1	(ボ)長内
	10月31日	鹿角市社会福祉協議会	一 般	30	1	(ボ)長内
北 秋 田 市	5月18日	北秋田市浦田自治会	一 般	20	1.5	(支)川上 (ボ)糸屋幸 長内・小塚
	9月18日	北秋田市民生委員児童委員協議会	一 般	88	1	(ボ)小塚
	10月18日	北秋田市立合川小学校6年部	児 童 一 般	58	1.5	(ボ)竹内 糸屋幸
	11月 6 日	北秋田市森吉赤十字奉仕団	奉 仕 団	70	2	(ボ)佐々木靖 糸屋幸・小塚
小 坂 町	9月18日	日赤小坂町分区	奉 仕 団	30	1	(ボ)長内
三 種 町	9月12日	三種町山本赤十字奉仕団	奉 仕 団	27	1	(ボ)竹内 小塚
八 峰 町	1月22日	八峰町八森赤十字奉仕団	奉 仕 団	18	2	(支)川上 (ボ)藤村
藤 里 町	9月29日	日赤藤里町分区	奉 仕 団	58	2	(ボ)佐々木靖
	10月24日	藤里町立義務教育学校 藤里学園	児 童 生 徒	25	1.5	(ボ)竹内 長内・藤村

開催地	期 日	主 催 者	対 象	人数 (人)	時間 (時間)	指導者
八 郎 潟 町	7 月30日	八郎潟町社会福祉協議会	一 般	70	2	(ボ)竹内 長内
美 郷 町	7 月26日	日赤美郷町分区	一 般	20	1	(ボ)高橋邦 飯沼
	7 月27日	美郷町赤十字奉仕団	奉 仕 団	40	1.5	(ボ)高橋邦 高橋文・飯沼
羽 後 町	5 月26日	ノルディックウォーキングさく らの会	一 般	12	1	(ボ)高橋里
東 成 瀬 村	8 月 5 日	日赤東成瀬村分区	児 童	11	1.5	(支)碓谷
計		47回		1,730	67	

(2) 日本赤十字社防災教育事業指導者フォローアップ研修

(本社主催)

期 日 10月20日～21日

会 場 日本赤十字社

参 加 者 日赤秋田県支部職員 1人

期 日 3月5日

形 態 Web 形式

参 加 者 日赤秋田県支部職員 2人

(支部主催)

期 日 11月15日

会 場 中央市民サービスセンター（センタース）多目的ホール

参 加 者 防災教育事業指導者 37人

5 赤十字災害救援車の寄贈配置

地域において、赤十字活動の推進に活用してもらうことを目的に、平成15年度から年次計画に基づき災害救援車を市町村（地区・分区）に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

配 置 台 数	2 台
車 種	スズキ ワゴン R（軽四輪自動車）
配置地区・分区	横手市、大仙市
累 計	107台（平成15年度～）

6 救護装備の寄贈配置

地域において住民の安全・健康の保持や地域活動の活性化に資することを目的に、救護装備品を地区・分区に寄贈配置することとし、今年度は次のとおり寄贈した。

(1) 発電機（LP ガス）

配 置 台 数	1 台
配置地区・分区	藤里町
累 計	5 台

(2) ワンタッチテント

配 置 数	1 張
配置地区・分区	男鹿市
累 計	74張（平成28年度～）

(3) 救護資器材倉庫

配 置 棟 数	1 棟
配置地区・分区	にかほ市
累 計	7 棟（令和 4 年度～）

(4) 避難所用防災テント

配 置 数	14張
配置地区・分区	男鹿市（1）、鹿角市（10）、大潟村（2）、東成瀬村（1）
累 計	202張（令和 4 年度～）

(5) ポータブル電源

配 置 台 数	3 台
配置地区・分区	能代市、大館市、由利本荘市
累 計	26台（令和 5 年度～）

(6) 車イス

配 置 台 数	3 台
配置地区・分区	能代市、八峰町
累 計	3 台（令和 4 年度～）

(7) 簡易ベッド

配 置 台 数 9 台
配置地区・分区 大館市
累 計 29台（令和 5 年度～）

(8) 寝袋

配 置 数 24箱
配置地区・分区 横手市（15）、由利本荘市（4）、小坂町（5）
累 計 45箱（令和 6 年度～）

7 救護資器材の整備

- ・救護員作業衣等（冬用作業衣（上下）3）購入
- ・組立てトランク型自動ラップ式トイレ「ラップボン」一式 3 台 本社整備
- ・衛星電話「ワイドスターⅢ」5 台 本社整備

8 救護員登録状況

(1) 救護員登録状況

（令和 8 年 3 月31日現在）

施 設 別	人 数（人）		
	災害対策本部要員	救 護 班 要 員	血 液 供 給 要 員
支 部	9	—	—
病 院	21	74	—
血液センター	3	—	2
計	33	74	2

※病院の災害対策本部要員については日赤災害医療コーディネートチームであり

内訳は次のとおり

- ・日赤災害医療コーディネーター 6 人
- ・日赤災害医療コーディネートスタッフ 15人

(2) 救護班の編成状況

（令和 8 年 3 月31日現在）

常 置 施 設	救護班数（班）	救護班要員数（人）	職種別要員数（人）
病 院	9	74	医 師 9 看護師長 9 看護師 22 主 事 22 薬剤師 9 助産師 3

(3) こころのケア指導者・要員の登録状況

(令和8年3月31日現在)

施設別	人数(人)	
	こころのケア指導者	こころのケア要員
支部	1	5
病院	12	138
血液センター	0	5
乳児院	0	0
看護大学・短大	0	0
計	13	148

(4) 日本DMAT及び秋田ローカルDMAT隊員の登録状況

(令和8年3月31日現在)

常置施設	隊員登録者数(人)	職種別要員数(人)
病院	37	医師 8
		看護師 15
		業務調整員 14

9 防災ボランティア登録状況

(令和8年3月31日現在)

区分	男女別数(人)		計(人)
防災ボランティア・リーダー	男	9	10
	女	1	
防災ボランティア	男	3	9
	女	6	
計	男	12	19
	女	7	

10 救護資器材の主な装備状況

(令和8年3月31日現在)

資 器 材 名	数 量	備 考
150MHZ 帯業務用無線機	31	基地局 1、移動局21、携帯用 9 (血液センターを含む)
400MHZ 帯業務用無線機	18	基地局 1、移動局 9、携帯用 8
アマチュア無線機	4	アマチュア無線奉仕団用 (内、携帯用 2)
防災行政用無線電話	1	
衛星携帯電話	3	車載 1、可搬型 2
デジタル簡易無線機	10	
トランシーバー	10	
医療セット	3	
携帯型医療セット	1	
発電機	6	ガソリン燃料 5、LP ガス燃料 1
投光器	2	
担架	15	
折りたたみ寝台	31	
天幕	8	
移動炊飯器	6	
救急車	1	病院
災害救援車	6	支部
エアーテント	1	
組立てトランク型自動ラップ式トイレ式	13	消耗品セット、バッテリー、テント含む
患者掲示板	1	
ホワイトボード	1	
担架架台	1	
折りたたみ診察台	1	
折りたたみテーブル	2	
折りたたみ椅子	4	
医療セット置き台	1	
ノートパソコン	1	
拡声器	2	
救護所標示灯	1	
救護活動用自転車	1	
救護活動用車椅子	1	
トリアージシート	2	4 色 (黒・赤・黄・緑) × 2 組
パルスオキシメーター	1	
AED	1	
フレームテント	2	ドラッシュテント
モバイルプリンター	1	
デジタル個人線量計	14	
空中線量率測定用サーベイメータ	1	
避難所用防災テント	103	
蓄電池	5	大 2、小 3
寝袋	34	タイベック

11 救援物資の備蓄状況

品 名	数 量
毛 布	1,550枚
タオルケット	2,196枚
緊急セット	1,032個
安眠セット	641個

12 救護看護師の養成等

「救護員としての赤十字看護師」として登録・任命するため必要な知識、技術、姿勢を習得することを目的とし、秋田赤十字病院に採用された３年目の看護師を対象に５日間の研修を実施した。（修了者18人）

13 義援金の受付状況

（令和８年３月31日現在）

名 称	件数（件）	金額（円）
令和６年能登半島地震災害義援金	56	885,683
令和６年９月能登半島大雨災害義援金	24	207,223
令和７年大船渡市赤崎町林野火災義援金	53	1,117,607
令和７年トカラ列島近海地震災害義援金	12	68,650
令和７年台風第８号に伴う災害義援金	12	92,843
令和７年８月６日から的大雨災害義援金	28	333,693
令和７年台風第12号災害義援金	8	33,714
令和７年台風第15号災害静岡県義援金	7	29,866
令和７年台風第22号・第23号に伴う災害義援金	4	33,228
令和７年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金	19	359,649
令和７年青森県東方沖地震救援金	7	21,056
計	230	3,183,212

7 救急法・健康生活支援講習等の普及

1 総括表

種別	講習名称	回数 (回)	受講者数 (人)	資格取得者数 (人)
救急法	基礎講習	20	428	428
	救急員養成講習	12	308	307
	短期講習	120	5,210	
	計	152	5,946	735
健康生活支援講習	支援員養成講習	3	66	66
	災害時生活支援講習(高齢者)	15	696	
	短期講習	40	1,462	
	計	58	2,224	
水上安全法	救助員Ⅰ養成講習	1	5	5
	短期講習	49	1,414	
	計	50	1,419	5
幼児安全法	支援員養成講習	3	83	73
	短期講習	32	294	
	災害時生活支援講習 (乳幼児と保護者)	2	91	
	計	37	468	
雪上安全法	救助員Ⅰ養成講習	1	17	14
	短期講習	0	0	
	計	1	17	14
総計		298	10,074	754

2 救 急 法

病気やけがや災害から自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助して、医師または救急隊などに引き継ぐまでの救命手当及び応急手当について指導する救急法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開 催 地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
秋 田 市	4 月 3 日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(支) 碓谷・川上 (ボ) 竹内・佐藤美		
	4 月 3 日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(支) 碓谷・川上 (ボ) 竹内・佐藤美		
	4 月10日	秋田県林業研究研修センター	研 修 生	19	4	(支) 碓谷 (ボ) 竹内	19	
	4 月15日	(株)ユアテック秋田支社	職 員	21	1.5	(支) 碓谷		
	5 月15日	秋田県林業労働対策基金	林 業 従 事 者	27	4	(支) 碓谷 (ボ) 竹内	27	
	5 月24日	ライオンズマンション 千秋公園管理組合	一 般	30	1	(ボ) 竹内		
	5 月30日	秋田市立山王中学校	生 徒	84	1	(支) 須藤		
	5 月30日	秋田市立山王中学校	生 徒	84	1	(支) 川上 (乳) 水澤		
	5 月30日	秋田市立山王中学校	生 徒	84	1	(支) 須藤		
	5 月30日	秋田市立山王中学校	生 徒	84	1	(支) 川上 (乳) 水澤		
	5 月31日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 ・ 児 童 保 護 者	73	2.5	(ボ) 田口・竹内・長内 (ボ) 岡部・根本		
	5 月31日	日本赤十字社秋田県支部	幼 児 ・ 児 童 保 護 者	46	2.5	(ボ) 田口・竹内・長内 (ボ) 岡部・根本		
	6 月 4 日	秋田県労働基準協会	幼 児 児 童	40	2.5	(支) 碓谷・川上 (ボ) 竹内・佐藤美		
	6 月 4 日	秋田県労働基準協会	幼 児 児 童	40	2.5	(支) 碓谷・川上 (ボ) 竹内・佐藤美		
	6 月 5 日	日本赤十字東北看護大学	幼 児 児 童	54	7	(支) 碓谷 (看) 萩原・新沼 (ボ) 佐々木靖	54	
	6 月 6 日	日本赤十字東北看護大学	幼 児 児 童	51	7	(支) 菊地 (病) 今野・小笠原 (看) 萩原・新沼 (ボ) 竹内	51	
	6 月 9 日	秋田県看護協会	看 護 師	13	2	(ボ) 高橋邦・伊藤三		
	6 月12日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	33	1	(支) 碓谷・川上		
	6 月17日	株式会社 ホクシンエレクトロニクス	従 業 員	19	1.5	(ボ) 竹内		
	6 月21日	日赤秋田県支部	一 般	26	4	(支) 川上 (ボ) 竹内	26	
	6 月22日	東電化工業株式会社	一 般	93	2	(支) 川上 (ボ) 田口・竹内		
	6 月28日	日本赤十字東北看護大学	大 学 生	50	1.5	(支) 菊地 (看) 新沼		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
秋 田 市	6月28日 ～29日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	21	12	(ボ) 田口・竹内 (ボ) 佐々木靖・岡部		21
	7月1日 ～2日	日本赤十字東北看護大学	大 学 生	53	12	(支) 菊地(病) 今野 (看) 荻原・新沼 (ボ) 竹内		53
	7月3日 ～4日	日本赤十字東北看護大学	大 学 生	50	12	(支) 碓谷・淡路・川上 (看) 荻原・新沼 (ボ) 田口・竹内・佐々木靖		50
	7月8日	秋田県社会福祉協議会	介 護 職 員	18	2	(ボ) 佐々木靖・梅田		
	7月18日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	4	4	(支) 菊地	4	
	7月26日	秋田地方気象台	児 保 護 童 者	27	0.5	(ボ) 伊藤三・渡辺		
	7月26日	秋田地方気象台	児 保 護 童 者	13	0.5	(ボ) 伊藤三・渡辺		
	7月26日	秋田地方気象台	児 保 護 童 者	18	0.5	(ボ) 伊藤三・渡辺		
	8月7日	日本赤十字社秋田県支部	生 徒	15	1	(ボ) 銭谷・長内 (ボ) 糸屋幸・糸屋賢		
	8月23日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	26	4	(ボ) 田口・竹内	26	
	9月5日	認定特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム	一 般	24	1	(ボ) 竹内		
	9月8日 ～9日	秋田県警察学校	警 察 官	27	6	(ボ) 田口	27	
	9月10日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(支) 碓谷(乳) 高橋 (ボ) 竹内・岡部		
	9月10日	秋田県労働基準協会	一 般	38	2.5	(支) 碓谷・川上 (ボ) 竹内・岡部		
	9月10日 ～12日	秋田県警察学校	警 察 官	27	12	(ボ) 田口		27
	9月19日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	6	3	(支) 碓谷・川上	6	
	9月24日	日本赤十字東北看護大学・ 介護福祉短期大学部	大 学 生	337	4	(看) 荻原・新沼 (ボ) 竹内		
	9月25日	日本赤十字東北看護大学・ 介護福祉短期大学部	大 学 生	337	6	(看) 荻原・新沼 (ボ) 竹内・佐々木靖		
	9月26日	秋田市東部圏域協議体委員会	一 般	31	1	(ボ) 竹内・佐々木靖		
	9月27日	秋田魁新報社	一 般	200	6	(ボ) 佐藤美・三森		
	9月28日	秋田魁新報社	一 般	170	6	(ボ) 佐藤美・伊藤三		
	10月8日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	5	1.5	(ボ) 伊藤一		
	10月9日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	6	1.5	(ボ) 伊藤一		
	10月15日	泉学童クラブ(わんぱくクラブ)	児 職 童 員	34	1	(支) 川上(病) 堀江		
	10月16日	秋田キャッスルホテル	職 員	10	1	(ボ) 竹内		
	10月19日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(ボ) 伊藤一		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
秋 田 市	10月19日	秋田市四ッ小屋末戸松本町内会	一 般	46	1	(ボ) 渡辺・岡部		
	10月25日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(ボ) 伊藤一		
	10月27日	秋田赤十字乳児院	職 員	2	3	(乳) 高橋 (ボ) 碓谷	2	
	10月29日	泉学童クラブ (ひまわりクラブ)	児 童 職 員	27	1	(病) 大原・鎌田 (ボ) 碓谷		
	11月 6日	秋田県労働基準協会	一 般	38	2.5	(支) 菊地・鎌田・川上 (ボ) 竹内		
	11月 6日	秋田県労働基準協会	一 般	39	2.5	(支) 菊地・鎌田・川上 (ボ) 竹内		
	11月 9日	東電化工業株式会社	一 般	51	3	(ボ) 竹内・三森・岡部		
	11月17日	秋田市東部市民サービスセンター	一 般	32	0.5	(ボ) 伊藤三		
	11月17日 ～18日	秋田県警察学校	警 察 官	42	6	(ボ) 田口	42	
	11月19日	秋田リハビリテーション学院	学 生	36	5	(支) 菊地 (病) 三浦則 (ボ) 碓谷	36	
	11月19日 ～21日	秋田県警察学校	警 察 官	42	12	(ボ) 田口		42
	11月20日 ～21日	秋田リハビリテーション学院	学 生	36	12	(支) 菊地・伊藤・須藤・川上 (支) 淡路 (ボ) 佐々木靖		36
	11月25日	日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部	教 職 員	15	1.5	(看) 荻原・新沼		
	11月27日	秋田県看護協会	看 護 師	6	2	(支) 川上 (病) 三浦洋		
	11月29日	秋田県青少年交流センター	大 学 職 生 員	7	1	(ボ) 竹内		
	12月 1日	秋田南高等学校・中等部	教 職 員	26	1	(ボ) 竹内		
	12月 6日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	26	4	(ボ) 田口・竹内・岡部	26	
	12月 8日	秋田県赤十字血液センター	職 員	18	1	(支) 菊地 (血) 伊藤		
	12月 8日	秋田県赤十字血液センター	職 員	6	1	(支) 菊地 (血) 伊藤		
	12月12日	秋田県赤十字血液センター	職 員	9	1	(支) 菊地 (血) 伊藤		
	12月12日	秋田県赤十字血液センター	職 員	3	1	(血) 伊藤		
	12月13日 ～14日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	25	12	(ボ) 田口・竹内・岡部		25
	12月21日	秋田県水泳連盟	ス ポ ー ツ 指 導 員 (水泳) 基 礎水泳指導員	19	1.5	(ボ) 竹内		
	1 月13日	秋田県立歯科医療専門学校	専 門 学 生	28	6	(支) 菊地・川上	28	
	1 月15日 ～16日	秋田県立歯科医療専門学校	専 門 学 生	28	12	(支) 菊地・伊藤・川上 (病) 竹澤 (ボ) 佐々木靖		27
	1 月21日	秋田県労働基準協会	一 般	37	2.5	(支) 菊地・川上 (ボ) 竹内・三森		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
秋 田 市	1 月 21 日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(支) 菊地・川上 (ボ) 竹内・三森		
	2 月 1 日	秋田市大住町内会	一 般	20	1.5	(ボ) 竹内		
	2 月 26 日	秋田県地質調査業協会	一 般	30	1	(ボ) 竹内		
	3 月 5 日	聖霊学園高等学校	生 徒	70	1	(乳) 水澤 (ボ) 竹内		
	3 月 5 日	聖霊学園高等学校	生 徒	57	1	(乳) 水澤 (ボ) 竹内		
	3 月 7 日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	17	4	(支) 菊地 (ボ) 竹内・佐々木靖	17	
	3 月 12 日	秋田県労働基準協会	一 般	39	2.5	(支) 菊地・須藤 (ボ) 竹内・三森		
	3 月 12 日	秋田県労働基準協会	一 般	40	2.5	(支) 須藤 (ボ) 碓谷・竹内・三森		
	3 月 13 日	秋田中央ロータリークラブ	一 般	24	0.5	(支) 菊地・須藤		
	3 月 25 日	秋田県総合保健事業団	職 員	20	1	(病) 榊田 (ボ) 竹内		
	3 月 28 日	秋田市新藤田町内会	一 般	20	1	(ボ) 竹内		
	3 月 29 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
能 代 市	5 月 9 日	能代市立ニッ井中学校	生 徒	38	1	(支) 碓谷 (ボ) 長内		
	7 月 3 日	能代市立第四小学校	児 童	74	1	(ボ) 長内・大塚		
	7 月 3 日	能代市立第四小学校	教 職 員	30	1	(ボ) 長内・大塚		
	7 月 14 日	能代市立能代東中学校	生徒・教職員 一 般	115	1.5	(支) 碓谷 (ボ) 柴田		
	8 月 24 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	7	4	(ボ) 柴田・大塚・秋山里 (ボ) 富樫善・富樫深・竹内	7	
	9 月 9 日	能代市立能代第二中学校	生 徒	64	1	(ボ) 長内・梅田		
	10 月 4 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1.5	(ボ) 伊藤一		
	10 月 28 日	能代市立東雲中学校	生徒・教職員 一 般	62	1	(ボ) 柴田・佐々木靖		
	11 月 1 日 ～ 2 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	4	12	(ボ) 長内・糸屋幸・ 糸屋賢・大塚 (ボ) 秋山里・富樫善・ 柴田・今井		4
横 手 市	6 月 27 日	秋田県立横手城南高等学校	教 職 員	20	1	(ボ) 佐々木靖		
	8 月 25 日	秋田県立横手城南高等学校	教 職 員	24	1	(支) 碓谷 (ボ) 高橋里		
	9 月 17 日	秋田県立雄物川高等学校	生 徒	23	1.5	(支) 碓谷 (ボ) 高橋文		
	10 月 2 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(ボ) 伊藤一		
	12 月 9 日	横手市立大森小学校	一 般	108	1	(ボ) 碓谷・高橋文		
	3 月 4 日	居場所サポート団体 「手話つぼみちゃんず」	一 般	15	1.5	(ボ) 高橋文		
	3 月 8 日	根田谷地いきいきサロン	一 般	15	1	(ボ) 高橋文		
	3 月 26 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
湯 沢 市	7 月 6 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	9	4	(ボ) 土井雅・土井智 (ボ) 高橋邦・佐野	9	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
湯 沢 市	7月12日 ～13日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	7	12	(ボ) 土井雅・土井智 (ボ) 高橋邦・高橋文・ 高橋佳		7
	8月31日	湯沢市麓自治会	一 般	20	2	(ボ) 土井雅・土井智		
	9月1日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 生	10	4	(支) 碓谷 (ボ) 高橋里	10	
	9月2日 ～3日	秋田県立湯沢翔北高校専攻科	専 攻 科 生	10	12	(支) 碓谷 (ボ) 佐々木靖 (ボ) 高橋文・高橋邦		10
	9月2日	湯沢市立湯沢東小学校 湯沢市立湯沢北中学校	児 生 童 徒	172	0.5	(支) 川上 (ボ) 銭谷・土井雅・土井智		
	9月2日	湯沢市立湯沢東小学校 湯沢市立湯沢北中学校	児 生 童 徒	118	0.5	(支) 川上 (ボ) 銭谷・土井雅・土井智		
	9月2日	湯沢市立湯沢東小学校 湯沢市立湯沢北中学校	児 生 童 徒	171	0.5	(支) 川上 (ボ) 銭谷・土井雅・土井智		
	9月2日	湯沢市立湯沢東小学校 湯沢市立湯沢北中学校	児 生 童 徒	304	1	(支) 川上 (ボ) 銭谷		
	10月12日	湯沢市西地区災害から 生活を守る会	一 般	100	1	(ボ) 銭谷・高橋里		
	10月17日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1.5	(ボ) 伊藤一		
	11月13日	湯沢市生活支援体制整備事業 稲川地区第2層協議体	生 一 徒 般	112	1	(支) 川上 (ボ) 銭谷・高橋文		
	11月13日	湯沢市生活支援体制整備事業 稲川地区第2層協議体	生 一 徒 般	56	1	(支) 川上 (ボ) 銭谷・高橋文		
	12月1日	湯沢市教育委員会	稲川スキー場 業 務 従 事 者	22	2	(ボ) 高橋里		
	2月16日	日赤湯沢市地区	一 般	11	1.5	(ボ) 銭谷		
鹿 角 市	6月24日	鹿角市立花輪小学校	教 職 員	30	1	(ボ) 糸屋賢・長内・ 根本		
	10月3日	厚生ビル管理(株)	教 職 員	6	1.5	(ボ) 伊藤一		
	11月21日	厚生ビル管理(株)	教 職 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
由利本荘市	8月20日	秋田県立由利高等学校	教 職 員	25	1	(支) 碓谷 (ボ) 佐々木弘		
	9月21日	日本赤十字社秋田県支部	児 童	14	1	(ボ) 長内・糸屋賢		
	10月4日	特定非営利活動法人秋田 県防災士会	一 般	12	2.5	(ボ) 田口・竹内		
	10月16日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1.5	(ボ) 伊藤一		
	11月16日	暮らしの保健室「ひだま りーな」	一 般	12	1.5	(ボ) 佐藤美		
	11月26日	社会福祉法人久盛会あま さぎ園	介 護 職 員	9	1	(ボ) 佐藤美		
	11月28日	由利本荘市体育施設共同事業体	一 般	5	4	(ボ) 佐々木靖	5	
	11月29日 ～30日	由利本荘市体育施設共同事業体	一 般	5	12	(ボ) 佐々木靖		5
	3月1日	由利本荘市旭町町内会	一 般	16	1.5	(ボ) 佐藤美		

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数 (基 礎)	資 格 取得者数 (救急員)
大 仙 市	7 月 4 日	秋田県立大曲農業高等学校 太田分校	生 徒	20	2	(支) 碓谷 (ボ) 高橋邦		
	10月11日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	3	1	(ボ) 伊藤一		
	11月19日	日赤大仙市地区太田分区	一 般	26	1	(ボ) 佐藤美		
	11月29日	秋田県総合保健事業団	職 員	43	2	(ボ) 長谷川・高橋邦		
	2 月 28 日	秋田県総合保健事業団	職 員	12	2	(ボ) 碓谷・高橋邦		
北秋田市	9 月 20 日	秋田県赤十字救急法奉仕団	一 般	6	4	(ボ) 長内・糸屋賢・根本	6	
	10月10日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	4	1.5	(ボ) 伊藤一		
潟 上 市	6 月 8 日	追分西西町内会・自主防災会	一 般	14	1.5	(ボ) 渡辺・岡部		
仙 北 市	6 月 30 日	仙北市立神代中学校	教 職 員	15	0.25	(ボ) 藤井		
	9 月 24 日	仙北市立神代中学校	生 徒 教 職 員	21	1	(ボ) 藤井・高橋里・ 高橋文		
三 種 町	6 月 23 日	成田建設株式会社	一 般	80	2	(支) 碓谷 (ボ) 柴田		
	9 月 12 日	三種町山本赤十字奉仕団	一 般	27	1	(ボ) 竹内		
八 峰 町	7 月 17 日	八峰町立八峰中学校	生 徒	25	1	(支) 碓谷 (ボ) 梅田・柴田		
八 郎 潟 町	4 月 3 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	1	1	(ボ) 伊藤一		
	7 月 30 日	日赤八郎潟町分区	生 徒 一 般	70	1	(ボ) 竹内・長内		
	10月 7 日	厚生ビル管理(株)	警 備 員	2	1	(ボ) 伊藤一		
大 潟 村	9 月 20 日	特定非営利活動法人秋田 県防災士会	一 般	10	2	(ボ) 田口・竹内		
	10月31日	大潟村立大潟小学校	保 護 者	30	1.5	(ボ) 佐々木靖・梅田		
	12月10日	大潟村立大潟中学校	生 徒	24	1	(ボ) 柴田・大塚		
羽 後 町	5 月 12 日	ノルディックウォーキング さくらの会	一 般	11	1	(ボ) 高橋里		
	12月 5 日	鴨池寮	一 般	6	2	(ボ) 高橋里		
	12月10日	スキーパトロール	一 般	9	2	(ボ) 高橋里		
計	152回			5,946	416.3		428	307

※※同日、同主催者によって開催されている講習は、対象者が異なる。

※指導員欄の（支）は支部職員、（病）は赤十字病院職員、（血）は血液センター職員、（乳）は乳児院職員、（看）は日赤看護大職員、（ボ）はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄（基礎）は基礎講習（4時間）を修了し、検定の結果「赤十字ベーシックライフサポーター」に合格した者の数を表す。

※資格取得者数欄（救急員）は救急員養成講習（10時間）を修了し「救急員」に合格した者の数を表す。

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日 4月19日

会 場 秋田県社会福祉会館 2階展示ホール

参加者数 60人

研修内容

- ・令和6年度講習事業の報告及び令和7年度講習普及等について
- ・救急法短期講習「熱中症対策」に関する指導案の検討

(3) 講師研修会への参加

期 日 12月18日～19日

会 場 東京都赤十字血液センター

参 加 者 日赤秋田県支部 事業推進課長 菊地雄大

(4) 指導員養成講習会の実施

内 容	期 日	会 場
事前研修会	12月20日	日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
本講習	令和8年1月31日～2月1日・7～8日・11日	日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
新任指導員研修会	令和8年3月28日	日赤秋田県支部

・講師 日赤秋田県支部 事業推進課長 菊地雄大

秋田赤十字病院 救護課長 竹澤雄基（アドバイザー講師）

・受講者数 9人（男 3人、女 6人）

・合格者数 8人（男 3人、女 5人）

3 健康生活支援講習

高齢期を迎える前からの健康管理の備え、地域での高齢者支援、高齢者の介護方法を紹介する健康生活支援講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	5月8日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	29	3	(支) 伊藤・稲岡	
	5月9日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	31	3	(支) 伊藤	
	5月15日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	30	3	(支) 伊藤	
	5月16日	秋田赤十字病院	一 般	50	4	(病) 船木・鎌田	
	5月16日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	28	3	(支) 伊藤	
	5月21日	新屋地区社会福祉協議会	一 般	23	1.5	(支) 稲岡	
	5月22日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	30	3	(支) 伊藤・稲岡	
	5月29日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	30	3	(支) 伊藤・稲岡	
	5月30日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	30	3	(支) 伊藤	
	6月5日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	28	3	(支) 伊藤・稲岡	
	6月6日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	30	3	(支) 伊藤	
	6月13日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	29	3	(支) 伊藤	
	6月20日	秋田県歯科医療専門学校	専 門 学 生	30	3	(支) 伊藤	
	7月19日 ～20日	日本赤十字社秋田県支部	一 般	6	12	(支) 伊藤	6
	7月23日 ～24日	日本赤十字東北看護大学	大 学 生	30	12	(大) 佐藤美、佐藤沙	30
	7月29日	秋田市南部市民センター	一 般	15	1.5	(支) 稲岡	
	7月31日 ～8月1日	日本赤十字秋田看護大学	大 学 生	30	12	(大) 佐藤美、佐藤沙	30
	10月15日	秋田市飯島南地区民生児童委員協議会	一 般	90	1.5	(支) 稲岡	
	10月23日	秋田市桜地区社会福祉協議会	一 般	48	1.5	(支) 稲岡	
	10月25日	秋田市川崎東町内会自主防災隊	一 般	35	1	(支) 伊藤	
	11月10日	手話サークル たんぽぽ	一 般	13	1.5	(病) 遠藤	
	11月17日	秋田市東部市民サービスセンター	一 般	38	1.5	(病) 佐藤幸	
	11月29日	日赤秋田県支部	一 般	19	1	(支) 伊藤	
	2月14日	秋田長生大学	一 般	60	1.5	(支) 伊藤	
	2月19日	秋田市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	50	1	(支) 伊藤	
能 代 市	9月10日	能代市・八峰町赤十字奉仕団（交流会）	奉 仕 団 員	135	1.5	(支) 稲岡	
横 手 市	8月27日	日赤横手市赤十字奉仕団大森分団	奉 仕 団 員	31	1.5	(支) 伊藤	
	11月14日	日赤横手市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	65	1.5	(支) 伊藤	
	11月16日	日赤秋田県支部	一 般	7	1	(支) 伊藤	
	3月12日	横手市奉仕団雄物川分団	奉 仕 団 員	32	1.5	(支) 伊藤	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
大 館 市	6 月19日	大館市大館赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	50	1.5	(支) 稲岡	
大 仙 市	10月 1 日	日赤大仙市協和赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	25	1.5	(支) 稲岡	
	11月20日	日赤大仙市地区仙北分区長	奉 仕 団 員 一 般	30	1.5	(病) 松橋	
北秋田市	5 月14日	日赤北秋田市地区・上小 阿仁村分区	奉 仕 団 員	99	1	(支) 稲岡	
三 種 町	5 月29日	三種町琴丘赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	30	1	(支) 伊藤・稲岡	
五城目町	10月14日	五城目町社会福祉協議会	一 般	20	2	(支) 稲岡	
大 潟 村	7 月 2 日	日赤大潟村奉仕団	奉 仕 団 員 一 般	16	1.5	(支) 伊藤	
	8 月27日	日赤大潟村奉仕団	奉 仕 団 員	13	1.5	(支) 伊藤	
計	43回			1,385	105		66

(2) 災害時高齢者生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	9 月18日	秋田市西部市民サービスセンター	一 般	18	1.5	(支) 稲岡
	11月 9 日	秋田市新屋勝平地区 社会福祉協議会	一 般	55	1.5	(支) 伊藤
	11月22日	特定非営利活動法人 秋田県防災士会	一 般	40	2	(支) 伊藤
横 手 市	7 月15日	秋田県立衛生看護学院	専 門 学 生	34	3	(支) 伊藤・稲岡
湯 沢 市	6 月11日	湯沢翔北高等学校専攻科	学 生	23	1	(支) 伊藤・稲岡
由利本荘市	9 月12日	日赤由利本荘市地区由利分区	奉 仕 団 員 一 般	40	1.5	(支) 伊藤
男 鹿 市	9 月 4 日	男鹿市社会福祉協議会	一 般	23	1.5	(支) 伊藤
	9 月30日	男鹿市船川湊公民館	奉 仕 団 員 一 般	120	1	(支) 稲岡
	1 月 8 日	男鹿市北浦公民館	一 般	35	1.5	(支) 伊藤
大 仙 市	9 月25日	日赤大仙市地区長	奉 仕 団 員	38	1.5	(支) 稲岡
潟 上 市	9 月 6 日	潟上市赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	80	1	(支) 稲岡
上小阿仁村	9 月 8 日	上小阿仁村赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	24	1.5	(支) 伊藤
三 種 町	10月17日	日赤三種町琴丘赤十字奉仕団	奉 仕 団 員	40	2	(ボ) 新野 (支) 伊藤
井 川 町	7 月 6 日	日赤井川町分区 南秋田郡連合婦人会	奉 仕 団 員 一 般	106	1	(支) 稲岡
羽 後 町	10月29日	日赤羽後町分区	一 般	20	1.5	(支) 伊藤
計	15回			696	23	

※健康生活支援講習全体で58回、受講者数2224人、講習時間135.5時間であった。

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(看)は日赤東北看護大学職員、(短)は日赤東北看護介護福祉大学部職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は健康生活支援講習支援員養成講習(9時間)を修了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

(3) 指導員研修会

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第 8 条に基づく指導員研修を、次のとおり実施した。

期 日	6 月14日
会 場	秋田県社会福社会館 9 階第 3 会議室
参加者数	15人
研修内容	・ 令和 6 年度講習実績・令和 7 年度重点推進事業ならびに講習予定について ・ 令和 6 年度稼働ボランティア指導員へのアンケート結果より ・ 人命救助者表彰の取り扱いにかかる一部改正 ・ 講習開催経費の改訂 ・ WEBCROSS（実技動画）の紹介「車椅子への乗り移り」の実技の確認 ・ 地域で支える認知症「家族がたどる心理的ステップ」について ・ グループワークの実施

(4) 赤十字健康生活支援講習講師養成講習への参加

期 日	9 月17日～19日
会 場	日赤大阪府支部
参 加 者	日赤秋田県支部 事業推進課参事 伊藤成美

(5) 講師研修会への参加

期 日	12月 2 日～ 3 日
会 場	日本赤十字社
参 加 者	日赤秋田県支部 事業推進課参事 伊藤成美

4 幼児安全法

子どもの成長・発達を理解し、子どもに起こりやすい事故に対する応急手当の方法と、事故防止、家庭内での看護の方法を指導する幼児安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	4月2日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	1.5	(乳) 野呂	
	4月23日	勝平保育園	保 育 士	11	1.5	(支) 碓谷	
	4月24日	勝平保育園	保 育 士	11	1.5	(支) 碓谷	
	6月2日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	1	1.5	(乳) 野呂	
	6月22日	秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課	一 般	13	0.5	(乳) 水澤	
	6月25日	秋田市子育て相談支援課	一 般	36	1	(支) 稲岡	
	7月9日	あきた保育園	保 育 士	13	1.5	(支) 稲岡	
	7月18日	認定こども園あきたこどもの森	保 育 士	10	1	(ボ) 野中	
	8月12日	秋田赤十字乳児院	保 育 士 大 学 生	2	1.5	(乳) 田口	
	8月19日	こどものくに保育園	保 育 士	14	1.5	(支) 稲岡	
	9月2日	こどものくに保育園	保 育 士	11	1.5	(支) 稲岡	
	8月23日 ～24日	日本赤十字秋田県支部	一 般	18	12	(乳) 野呂 (大) 鈴木 (ボ) 伊藤	18
	9月4日	はねかわ保育所	保 育 士	9	1	(支) 稲岡	
	9月13日	秋田県青少年赤十字 指導者協議会	高 校 生	22	2	(ボ) 佐々木 (芳) 佐々木 (弘)	
	9月24日	秋田赤十字病院 院内保育園 ちゑの和	保 育 士	5	1.5	(病) 竹澤	
	10月26日	秋田県健康福祉部地域・家庭福祉課	一 般	8	0.5	(乳) 水澤	
	10月27日	こひつじ保育園	保 育 士	7	1.5	(支) 稲岡	
	10月28日	こひつじ保育園	保 育 士	8	1.5	(支) 稲岡	
	10月29日	あきた中央こども園	保 育 士	14	1	(ボ) 伊藤	
	10月31日	あきた中央こども園	保 育 士	18	1	(ボ) 伊藤	
	11月21日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	1.5	(乳) 高杉・水澤	
	11月22日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	1.5	(乳) 高杉・水澤	
	11月23日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	1.5	(乳) 高杉・水澤	
	11月25日	白百合こども園	保 育 士	14	1.5	(支) 稲岡	
	11月26日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	1.5	(乳) 高杉・水澤	
	11月27日	白百合こども園	保 育 士	15	1.5	(支) 稲岡	
	11月28日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	1.5	(乳) 高杉・水澤	
	11月30日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	4	1.5	(乳) 高杉・水澤	
	12月3日	こひつじ保育園	保 育 士	6	1.5	(支) 稲岡	
	12月15日 ～16日	日本赤十字東北看護大学	大 学 生	32	12	(大) 鈴木・児玉	26
	12月18日 ～19日	日本赤十字東北看護大学	大 学 生	33	12	(大) 鈴木・児玉	29
	1月9日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	2	1.5	(乳) 田口	
	1月15日	秋田赤十字乳児院	保 育 士	3	1.5	(乳) 田口	
	2月10日	秋田赤十字病院 院内保育園 ちゑの和	保 育 士	4	1	(病) 竹澤 (病：救急法) 小笠原	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
大 潟 村	7月24日	日赤大潟村分区	保 育 士	12	1.5	(支) 碓谷 (ボ) 柴田	
計		35回		364	76.5		73

(2) 避難所生活支援講習

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員
秋 田 市	11月5日	上北手保育園	保 育 士	13	1	(支) 稲岡
横 手 市	10月30日	横手市立ますだ保育園	保 育 士 保 護 者	78	1	(支) 稲岡
計		2 回		91	2	

※幼児安全法全体で、37回、受講者数468人、講習時間81.5時間であった。

※指導員欄の（支）は支部職員、（病）は赤十字病院職員、（看）は日赤東北看護大職員、（乳）は赤十字乳児職員、（ボ）はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は幼児安全法支援員養成講習（10時間）を終了し、検定の結果、「支援員」に合格した者の数を表す。

(3) 指導員研修会

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第 8 条に基づく指導員研修を次のとおり実施した。

- 期 日 5 月17日
- 会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室
- 参加者数 21人
- 研修内容
- ・講習普及状況について
 - ・実技の確認（乳幼児の気道異物除去、けがの手当て）
 - ・子どもの応急手当（窒息）のシミュレーションとグループワーク
 - ・救急救命士に聞いてみよう

(4) 講師研修会への参加

- 期 日 12月 3 日～ 4 日
- 会 場 日本赤十字社
- 参 加 者 秋田赤十字乳児院 養育一係長 野呂めぐみ

(5) 指導員養成講習会の実施

- ・講師 秋田赤十字乳児院 養育一係長 野呂めぐみ
日赤秋田県支部 稲岡一枝（アドバイザー講師）
- ・受講者数 11人（男 2 人、女 9 人） 合格者数 5 人（男 1 人、女 4 人）

①説明会事前研修会

期 日 12月13日
会 場 秋田県社会福祉会館

②指導員養成講習

期 日 1月24日～25日 2月21日～23日
会 場 秋田県社会福祉会館

③新任指導員研修会

期 日 3月14日
会 場 秋田県社会福祉会館

5 水上安全法

水の事故から生命を守るための知識や技術を指導する水上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習及び短期講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	7月5日	向浜スポーツゾーン総合事務所	一 般	22	1.5	(ボ) 伊藤三・大塚	
	7月14日	秋田市立川尻小学校	小 学 生	69	1	(支) 菊地 (ボ) 伊藤三	
	7月18日 ～20日	秋田県赤十字水上安全法 奉仕団	一 般	5	14	※別記のとおり	5
	3月29日	JSS 秋田スイミングスクール	一 般	12	2	(ボ) 銭谷・大塚	
能 代 市	7月4日	能代市立淳城南小学校	小 学 生	41	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢 (ボ) 大塚・秋山里	
	7月4日	能代市立淳城南小学校	小 学 生	37	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢 (ボ) 大塚・秋山里	
	7月4日	能代市立淳城南小学校	小 学 生	35	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢 (ボ) 大塚・秋山里	
	7月11日	能代市立第四小学校	小 学 生	29	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・秋山里	
	7月11日	能代市立第四小学校	小 学 生	29	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・秋山里	
	9月4日	能代市立淳城西小学校	小 学 生	22	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・伊藤三	
	9月4日	能代市立淳城西小学校	小 学 生	21	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・伊藤三	
	9月12日	能代市立二ツ井小学校	小 学 生	24	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・伊藤三	
	9月12日	能代市立二ツ井小学校	小 学 生	24	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・伊藤三	
横 手 市	7月23日	秋田県南部老人福祉総合エリア	プ ー ル 職 員	5	1.5	(ボ) 銭谷	
湯 沢 市	7月8日	湯沢市立湯沢西小学校	小 教 学 職 生 員	84	1.5	(病) 伊藤衣 (ボ) 銭谷・伊藤三	
	7月9日	湯沢市立湯沢西小学校	小 教 学 職 生 員	65	1.5	(病) 伊藤衣 (ボ) 銭谷・伊藤三	
	7月15日	湯沢市立湯沢東小学校	小 教 学 職 生 員	87	1.5	(病) 伊藤衣 (ボ) 銭谷	

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
湯 沢 市	7月16日	湯沢市立湯沢東小学校	小 学 生 教 職 員	90	1.5	(病) 伊藤衣 (ボ) 銭谷・伊藤三	
	7月17日	湯沢市立山田小学校	小 学 生 教 職 員	31	1.5	(ボ) 銭谷	
	9月21日	日赤湯沢市地区	一 般	15	1	(病) 伊藤衣 (ボ) 伊藤三	
鹿 角 市	8月29日	鹿角市立十和田小学校	小 学 生	36	1	(ボ) 長内・糸屋幸・糸屋賢	
	8月29日	鹿角市立十和田小学校	小 学 生	29	1	(ボ) 長内・糸屋幸・糸屋賢	
	8月29日	鹿角市立十和田小学校	小 学 生	50	1	(ボ) 長内・糸屋幸・糸屋賢	
	9月5日	鹿角市立大湯小学校	小 学 生	56	1	(ボ) 長内・糸屋幸・糸屋賢	
北秋田市	7月12日	北秋田市教育委員会 日赤北秋田市地区	プ ー ル 監 視 員	17	2	(ボ) 長内・三森	
	7月12日	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	一 般	8	2	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・三森	
小 坂 町	6月4日	小坂町教育委員会	教 員 プ ー ル 監 視 員	19	1.5	(ボ) 長内	
	6月18日	小坂マリア園	保 育 士	16	1.25	(ボ) 長内	
	7月1日	小坂マリア園	幼 児	16	1	(ボ) 長内	
	7月6日	十和田地域づくり協議会	小 学 生	20	1.5	(ボ) 長内	
	7月14日	小坂町立小坂小学校	小 学 生	20	1	(ボ) 長内・糸屋幸・糸屋賢	
	7月14日	小坂町立小坂小学校	小 学 生	16	1	(ボ) 長内・糸屋幸・糸屋賢	
	7月14日	小坂町立小坂小学校	小 学 生	28	1	(ボ) 長内・糸屋幸・糸屋賢	
	7月23日	十和田地域づくり協議会	小 学 生	20	1.5	(ボ) 長内	
	7月25日	小坂マリア園	小 学 生	16	1	(ボ) 長内	
	7月28日	小坂町教育委員会	小 学 生	12	1	(ボ) 長内	
	7月28日	小坂町教育委員会	小 学 生	12	1.5	(ボ) 長内	
	7月29日	小坂町教育委員会	小 学 生	12	1	(ボ) 長内	
	7月29日	小坂町教育委員会	小 学 生	12	1.5	(ボ) 長内	
	7月31日	小坂町教育委員会	小 学 生	12	1	(ボ) 長内	
	7月31日	小坂町教育委員会	小 学 生	12	1.5	(ボ) 長内	
三 種 町	8月28日	三種町立森岳小学校	小 学 生	21	1	(ボ) 長内・大塚	
	9月3日	三種町立琴丘小学校	小 学 生	25	1	(ボ) 長内・伊藤三・大塚	
	9月3日	三種町立琴丘小学校	小 学 生	29	1	(ボ) 長内・伊藤三・大塚	
八 峰 町	7月10日	八峰町立八森小学校	小 学 生	28	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・秋山里	
	7月10日	八峰町立八森小学校	小 学 生	35	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・秋山里	
大 潟 村	6月30日	日赤大潟村分区	プ ー ル 監 視 員	11	1.5	(ボ) 大塚・伊藤三	
	7月2日	日赤大潟村分区	中 学 生	30	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・伊藤三	
	7月2日	日赤大潟村分区	中 学 生	24	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・伊藤三	
	7月2日	日赤大潟村分区	中 学 生	30	1	(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内 (ボ) 大塚・伊藤三	
計	50回			1,419	73.3		5

※指導員欄の(支)は支部職員、(病)は赤十字病院職員、(ボ)はボランティア指導員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習(14時間)を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

※同日、同主催者によって開催されている講習は、対象者が異なる。

※別記(支) 菊地、(病) 竹澤・伊藤衣・小笠原・武石、(ボ) 畠山・三森・銭谷・小柳
(ボ) 糸屋幸・糸屋賢・長内・大塚・伊藤三・藤田

(2) 指導員研修会の実施

日本赤十字社救急法等講習規則施行細則第8条に基づく指導員研修を次のとおり実施した。

期 日	6月1日
会 場	秋田県立総合プール ダイビングプール・サブプール
参加者数	18人
研修内容	・令和6年度講習事業の報告及び令和7年度講習普及等について ・講師研修会からの伝達事項

(3) 講師研修会への参加

期 日	2月4日～5日
会 場	日本赤十字社・東京アクアティクスセンター
参 加 者	秋田赤十字病院 救護課長 竹澤雄基

6 雪上安全法

スキーなどを安全に行うための応急手当を含めた具体的な知識や技術を指導する雪上安全法の講習を次のとおり実施した。

(1) 一般普及講習の開催状況

開催地	期 日	主 催 者	受 講 者 別	人数 (人)	時間 (時間)	指 導 員	資 格 取得者数
秋 田 市	2月22日	日赤東北看護大学・介護福祉短期大学部 赤十字教育委員会 赤十字防災ボランティアステーション	大 学 生 短 大 生	17	7	(病) 竹澤	14
計	1回			17	7		7

※指導員欄の(病)は赤十字病院職員を表す。

※資格取得者数欄は救助員養成講習(7時間)を修了し、検定の結果「救助員」に合格した者の数を表す。

7 救急法等指導員登録状況

(令和8年3月31日現在)

講 習 別	人 数 (人)		
	職員指導員	ボランティア指導員	計
救 急 法	34	43	77
健 康 生 活 支 援 講 習	17	11	28
水 上 安 全 法	7	18	25
幼 児 安 全 法	19	16	35
雪 上 安 全 法	1	0	1
防 災 セ ミ ナ ー	17	42	59
計	95	130	225

8 赤十字奉仕団等

1 組織状況

(令和8年3月31日現在)

奉仕団名		団数(団)	団員数(人)		
			男	女	計
地域奉仕団		53	1,098	9,130	10,228
特別奉仕団	青年奉仕団	6	16	51	67
	秋田県点訳赤十字奉仕団	1	0	3	3
	秋田県赤十字芸能奉仕団	1	8	51	59
	秋田県アマチュア無線赤十字奉仕団	1	24	2	26
	秋田県赤十字水上安全法奉仕団	1	13	5	18
	秋田県赤十字救急法奉仕団	1	23	16	39
	秋田県赤十字災害救護奉仕団	1	4	5	9
	秋田県青少年赤十字賛助奉仕団	1	63	16	79
特殊奉仕団 計		7	135	98	233
合 計		66	1,249	9,279	10,528

(1) 地域奉仕団

(令和8年3月31日現在)

奉仕団名	結成年月日	委員長氏名	分団数(団)	班数(班)	団員数(人)		
					男	女	計
秋田市赤十字奉仕団	S23.11.20	佐竹睦子	11	0	0	149	149
秋田市雄和赤十字奉仕団	S32.03.26	鈴木一枝	0	0	0	41	41
能代市赤十字奉仕団	S34.04.01	檜森幸子	18	45	5	273	278
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	S44.07.05	齊藤正子	7	0	7	250	257
横手市赤十字奉仕団	S45.04.01	嶋田陽子	6	25	6	1,230	1,236
大館市大館赤十字奉仕団	S33.09.17	佐藤明子	10	0	0	865	865
大館市比内赤十字奉仕団	S35.06.24	北村百合子	4	4	0	475	475
大館市田代赤十字奉仕団	S36.06.01	佐藤かよ子	7	0	0	100	100
男鹿市赤十字奉仕団	S40.04.01	吉田萬里子	7	14	0	320	320
湯沢市赤十字奉仕団	S29.04.01	戸部緑	4	0	0	230	230
鹿角市赤十字奉仕団	S27.06.01	長内昭継	1	0	1	9	10
由利本荘市本荘赤十字奉仕団	S37.04.01	林悦子	0	0	0	31	31
由利本荘市岩城赤十字奉仕団	S48.04.01	鈴木とみ子	2	2	0	97	97
由利本荘市大内赤十字奉仕団	S48.12.01	布施隆子	0	0	0	8	8
由利本荘市東由利赤十字奉仕団	S38.04.25	阿部タツ子	6	0	0	33	33
由利本荘市鳥海赤十字奉仕団	S33.05.31	小松こず江	3	0	0	66	66
由利本荘市矢島赤十字奉仕団	S33.06.18	土田典子	1	0	0	26	26

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	分団数 (団)	班 数 (班)	団 員 数 (人)		
					男	女	計
由利本荘市由利赤十字奉仕団	S32.04.01	佐 藤 美保子	0	0	11	16	27
由利本荘市西目赤十字奉仕団	S45.10.01	潟 保 博 子	0	0	0	24	24
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	H17.03.22	こだま 祥 子	0	0	0	345	345
大仙市大曲赤十字奉仕団	S43.04.01	高 橋 要	0	0	45	37	82
大仙市仙北赤十字奉仕団	S33.05.15	佐 藤 あや子	1	63	3	125	128
大仙市中仙赤十字奉仕団	S30.03.31	高 橋 榮 子	4	0	0	300	300
大仙市太田赤十字奉仕団	S30.03.30	木 元 優 子	3	0	4	72	76
大仙市西仙北赤十字奉仕団	S37.04.01	寺 田 要 子	9	179	29	133	162
大仙市神岡赤十字奉仕団	S34.04.01	木 村 孝 臣	0	0	38	9	47
大仙市協和赤十字奉仕団	S33.08.02	大 嶋 弘 子	1	0	8	109	117
大仙市南外赤十字奉仕団	S45.04.01	高 橋 妊 子	1	47	22	57	79
北秋田市鷹巣赤十字奉仕団	S26.05.01	三 澤 甲 江	7	0	0	513	513
北秋田市森吉赤十字奉仕団	S37.04.01	松 橋 セツ子	24	24	0	295	295
北秋田市阿仁赤十字奉仕団	S33.12.02	伊 東 由美子	13	0	0	156	156
北秋田市合川赤十字奉仕団	S30.04.01	福 岡 史 恵	8	38	0	149	149
にかほ市金浦赤十字奉仕団	S62.06.02	欠	0	0	0	14	14
にかほ市仁賀保赤十字奉仕団	S62.11.27	村 上 和 美	0	0	0	55	55
にかほ市象潟赤十字奉仕団	S53.06.01	阿 曾 綾 子	0	0	0	18	18
仙北市角館町赤十字奉仕団	S32.04.01	赤 川 和 子	4	168	62	106	168
仙北市田沢湖赤十字奉仕団	S33.04.01	佐 藤 リ ヨ	3	0	45	77	122
仙北市西木町赤十字奉仕団	S33.04.25	田 口 みる子	1	81	0	27	27
小 坂 町 赤 十 字 奉 仕 団	S32.04.01	小笠原 シゲ子	1	4	1	12	13
上小阿仁村赤十字奉仕団	S23.04.01	伊 藤 明 美	16	0	0	274	274
藤 里 町 赤 十 字 奉 仕 団	S23.04.01	淡 路 高 江	1	4	0	170	170
三種町琴丘赤十字奉仕団	S55.03.23	鎌 田 まさ子	0	0	20	107	127
三種町山本赤十字奉仕団	S52.03.14	珍 田 律 子	1	0	23	99	122
三種町八竜赤十字奉仕団	S34.04.01	堀 田 キミ子	1	0	0	330	330
八峰町八森赤十字奉仕団	S48.05.01	高 崎 修 子	0	0	0	82	82
八峰町峰浜赤十字奉仕団	S43.04.01	森 田 葉 子	0	14	0	41	41
五城目町赤十字奉仕団	S23.04.26	澤田石 美恵子	3	3	0	53	53
八郎潟町赤十字奉仕団	S45.07.01	佐 藤 操	0	0	0	40	40
井 川 町 赤 十 字 奉 仕 団	S30.02.01	湊 文 子	0	0	0	219	219
大 潟 村 赤 十 字 奉 仕 団	S44.11.01	工 藤 孝 子	1	5	0	25	25
美 郷 町 赤 十 字 奉 仕 団	H16.11.01	森 元 博 美	3	135	128	230	358
羽 後 町 赤 十 字 奉 仕 団	S33.09.01	村 上 與 子	7	65	340	288	628
東成瀬村赤十字奉仕団	S33.07.30	鈴 木 キミコ	16	0	300	320	620
計	53 団		216	920	1,098	9,130	10,228

(2) 青年赤十字奉仕団

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	副委員長氏名	団 員 数 (人)		
				男	女	計
秋田県青年赤十字奉仕団	S38.04.01	三 浦 泰 輔	佐々木 恵 子	8	11	19
日赤東北看護大・短大 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H08.11.29	伊 藤 采 音	三 浦 英 登	1	33	34
ノースアジア大学厚生委員会 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H13.04.26	鎌 田 翔	欠	1	0	1
秋 田 県 立 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H18.06.01	本 間 亮	坂 本 翔	3	5	8
秋 田 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	H27.04.26	齋 藤 慎太郎	田 口 聖 大	2	0	2
国 際 教 養 大 学 学 生 赤 十 字 奉 仕 団	R03.12.03	塚 田 桜 妃	ネイショール ニンワー	1	2	3
計		6 団		16	51	67

(3) 特殊赤十字奉仕団

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

奉 仕 団 名	結成年月日	委 員 長 氏 名	副委員長氏名	団 員 数 (人)		
				男	女	計
秋田県点訳赤十字奉仕団	S41.11.01	吉 田 圭 子	鈴 木 敦 子	0	3	3
秋田県赤十字芸能奉仕団	S42.05.04	中 村 久 夫	石 塚 喜 奈子 田 中 啓 子	8	51	59
秋 田 県 ア マ チ ュ ア 無 線 赤 十 字 奉 仕 団	S46.12.19	石 川 和 男	小 林 康 司	24	2	26
秋 田 県 赤 十 字 水 上 安 全 法 奉 仕 団	S53.06.10	三 森 幹 男	銭 谷 郁 雄代 大 塚 貴 代	13	5	18
秋 田 県 赤 十 字 救 急 法 奉 仕 団	S60.06.28	田 口 昇	佐々木 清 志 長 内 昭 継 竹 内 健 司	23	16	39
秋 田 県 赤 十 字 災 害 救 護 奉 仕 団	H11.08.28	八 代 千 春	高 橋 邦 明志 松 渕 孝 志	4	5	9
秋 田 県 青 少 年 赤 十 字 賛 助 奉 仕 団	H15.04.01	羽 川 誠	柴 田 正 臣夫 佐 藤 朋 夫	63	16	79
計		7 団		135	98	233

2 会議・研修会等

(1) 赤十字奉仕団秋田県支部委員会

期 日 4月16日
会 場 秋田県社会福祉会館 9 階第 3 会議室
参 加 者 地域奉仕団 16人
特殊奉仕団 5人
内 容 役員改選
奉仕団活動報告

(2) 赤十字奉仕団委員長会議

期 日 4月16日
会 場 秋田県社会福祉会館10階大会議室
参 加 者 地域奉仕団 40人
特殊奉仕団 4人
内 容 赤十字奉仕団秋田県支部委員会報告
令和 6 年度事業概要
令和 7 年度事業計画
赤十字会員増強運動について
奉仕団活動報告「地域包括ケアへの貢献事業
“地域つながり隊！” 実施報告」
八峰町峰浜赤十字奉仕団委員長 森田葉子
グループワーク「自分達の活動を自慢しよう！」

(3) 地域包括ケア事業担当者会議（第 1 回）オンライン形式

期 日 5月28日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 日赤秋田県支部職員 伊藤成美 稲岡一枝

(4) 赤十字奉仕団中央委員会

期 日 7月2日～3日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 齊藤正子

(5) 赤十字奉仕団支部指導講師会議

(第1回)

期 日 6月25日
主 催 者 日赤秋田県支部
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 支部指導講師 6人
日赤秋田県支部職員 5人
内 容 令和6年度の活動報告
令和7年度の活動について協議

(第2回)

期 日 11月26日
主 催 者 日赤秋田県支部
会 場 日赤秋田県支部 研修室・WEB
参 加 者 支部指導講師 4人
日赤秋田県支部職員 4人
内 容 令和7年度の活動報告
令和8年度の活動について協議

(6) 赤十字奉仕団担当者研修会

期 日 6月16日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 日赤秋田県支部職員 川上恵

(7) 青少年赤十字担当者研修会

期 日 6月17日
会 場 日本赤十字社
参 加 者 日赤秋田県支部職員 川上恵

(8) 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会

期 日 10月21日～22日
会 場 秋田温泉 さとみ
参 加 者 地域奉仕団 秋田県支部 60人

地域奉仕団 青森県支部	6 人
地域奉仕団 岩手県支部	6 人
特別奉仕団	4 人
支部委員会	5 人
支部指導講師	2 人
日赤岩手県支部職員	1 人
日赤青森県支部職員	1 人
日赤秋田県支部職員	5 人

内 容 地域包括ケアシステムへの貢献について

日赤秋田県支部職員 伊藤成美

オーラルフレイルとその予防について

秋田県庁健康福祉部（歯科医師）田代真康

ギャラリートークの説明

日赤秋田県支部指導講師 糸屋賢

赤十字奉仕団活動報告

（秋田県支部）潟上市赤十字奉仕団 こだま祥子

（岩手県支部）釜石市赤十字奉仕団 中川カヨ子

（青森県支部）東北町赤十字奉仕団 原子スワ子

グループディスカッション

ファシリテータ 日赤秋田県支部職員 菊地雄大

協議したテーマ

① 社会活動（講習・地域包括ケア）について

② 防災・減災について

アトラクション 秋田県赤十字芸能奉仕団 8 人

3 活動状況等

(1) 地域奉仕団

ア 市地区並びに町村分区ごとに組織している地域奉仕団はそれぞれの地域のニーズに応じて、主として次の事業に奉仕した。

- ・ 赤十字会員増強運動並びに活動資金収納に関する奉仕
- ・ 献血推進事業に関する奉仕
- ・ 災害救護業務に関する奉仕
- ・ 社会福祉施設への訪問
- ・ 地域高齢者支援に関する奉仕
- ・ その他社会福祉に関する奉仕
- ・ その他

イ 奉仕団活動の情報共有に役立てていただきたく、各地域における活動を当支部ホームページに紹介した。

奉仕団名	ホームページタイトル
秋 田 県 赤 十 字 奉 仕 団 (地 域 ・ 特 殊)	令和7年度赤十字奉仕団委員長・日赤地区分区事務担当者会議を実施
北秋田市森吉赤十字奉仕団 北秋田市合川赤十字奉仕団	第55回秋田県赤十字奉仕団北秋田地区大会
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	大住分団学習会
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	日赤キッズタウン2025
北秋田市森吉赤十字奉仕団	福祉施設の花植え
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	赤十字乳児院へアカット・窓ふき・読み聞かせ奉仕
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団 川 尻 分 団	川尻地区の39回目の企業・会社の献血活動
上小阿仁村赤十字奉仕団	赤十字避難生活支援講習会・炊き出し訓練
角 館 町 赤 十 字 奉 仕 団	サロンにてフレイル予防講習会
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団 保 戸 野 分 団	9月の定例会はニットソーイング
潟 上 市 赤 十 字 奉 仕 団	飯田川ちいきつながり隊事業
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	きみまちの里フェスティバルにて活動
仙北市角館町赤十字奉仕団	角館小学校の窓ふきのお手伝い
北秋田市森吉赤十字奉仕団	赤十字防災セミナー「避難所運営を体験しよう」
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団 保 戸 野 分 団	はらいずみ町内会非常用炊き出し訓練

奉仕団名	ホームページタイトル
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	「NHK 海外たすけあい」街頭募金活動に参加して
北秋田市森吉赤十字奉仕団	N H K海外たすけあい
秋 田 市 赤 十 字 奉 仕 団	「令和7年度 NHK 海外たすけあい」へ寄付
能代市二ツ井町赤十字奉仕団	ちょっと早いクリスマスプレゼント
19回	

ウ 地域包括ケアシステムへの貢献の推進

- ・「フレイル予防サポーター養成講座」を開催し、フレイル予防に関する取り組みを地域に広める活動を行う。
- ・地域に根差した活動「ちいきつながり隊！」への財政支援

「フレイル予防サポーター養成講座」の実施

No.	地 域	日 時	会 場	受講者数	講 師
1	仙北市	7月18日	仙北市角館交流センター	40	秋田県庁 田代 真康 秋田赤十字病院 児玉 芙美子 秋田赤十字病院 村井 純 日赤秋田県支部 伊藤 成美
1 回				40人	

地域に根差した活動「ちいきつながり隊！」の実施

No.	奉仕団名	内 容
1	男鹿市赤十字奉仕団	・赤十字講習会開催（参加者20人） 「フレイル予防で健康寿命を延ばそう」 ・高齢者交流運動会（5回開催 延参加者75人） 「ニュースポーツ」参加 ・小学校交流会 「ナツハゼのジャム作り」 ・小学校餅つき集会のお手伝い
2	潟上市赤十字奉仕団	・講演会開催（参加者68人） 「住み慣れた地域で暮らし続けるために～できることから始めよう介護予防」 ・赤十字講習会開催（参加者80人） 「避難生活支援講習」 「いのちを守る BOX 作成」
3	湯沢市赤十字奉仕団 稲川分団	・赤十字講習会開催（参加者30人） 「フレイル予防で健康寿命を延ばそう」 ・地域でのサロン活動（参加者15人） 「フレイル予防で地域交流」 ・ハートラちゃんワッペンづくりと高齢者宅訪問 ・奉仕団ベストの購入

エ その他特徴的な活動

(1) 第67回秋田市赤十字奉仕団総会

期 日 4月25日
会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室
参 加 者 奉仕団員 76人
内 容 アンリーデュナンの像に献花
励ましの言葉・メッセージ
・日赤秋田県支部事務局長
・秋田赤十字病院院長
・血液センター所長
講 演 「地域医療構想における当院の役割」
秋田赤十字病院長 河合秀樹

(2) 第55回赤十字奉仕団北秋田地区大会

期 日 5月14日
会 場 上小阿仁村生涯学習センター
参 加 者 奉仕団員 90人
講 演 「高齢者に多い事故の予防と手当」
日赤秋田県支部事業推進課 稲岡一枝

(3) 赤十字キッズタウン2025

期 日 5月31日
会 場 日赤東北看護大学・介護福祉短期大学部
参 加 者 秋田市赤十字奉仕団 20人
秋田北高校 J R C 部 12人
内 容 ハートラちゃんワッペン作り 200枚
ハートラちゃんの説明

(4) 日赤山形県支部と秋田市赤十字奉仕団との交流会

期 日 9月11日
会 場 日赤東北看護大学・介護福祉短期大学部
参 加 者 日赤山形県支部奉仕団員 11人

	日赤山形県支部職員	3人
	秋田市赤十字奉仕団員	11人
	日赤秋田県支部職員	3人
内 容	活動報告	
	山形県赤十字奉仕団の活動について	
	～大雨災害時の奉仕団の活動紹介～	
	赤十字奉仕団山形県支部委員会	委員長
		我妻由美子
	秋田市赤十字奉仕団の活動報告	
	～知る→学ぶ→まねる→ちょっとアレンジ～	
	赤十字奉仕団秋田県支部委員会	副委員長
	秋田市赤十字奉仕団委員長	佐竹睦子
	奉仕団交流会	
	ハートラちゃんワッペン作り 158枚	
	日赤東北看護大学・介護福祉短期大学部見学	
	秋田赤十字病院 ドクターヘリ見学	

(5) 秋田赤十字乳児院における奉仕活動

(第1回)

期 日	6月16日
会 場	秋田赤十字乳児院
参 加 者	能代市二ツ井町赤十字奉仕団 12人
	能代市地区担当者 1人
	日赤秋田県支部職員 1人
内 容	子どもたちのヘアカット
	絵本の読み聞かせ
	おもちゃ・椅子等の消毒と清掃
	窓ふき

(第2回)

期 日	12月8日
会 場	秋田赤十字乳児院

参 加 者	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	10人
内 容	食事用エプロン・雑巾の寄贈 絵本の読み聞かせ おもちゃ・ベッド等の消毒・清掃	

(6) 赤十字奉仕団による施設見学

期 日	8月20日	
会 場	日赤東北看護大学・介護福祉短期大学部 秋田赤十字病院 ヘリポート	
参 加 者	由利本荘市東由利赤十字奉仕団	19人
	日赤秋田県支部職員	1人
期 日	8月27日	
会 場	日赤秋田県支部（救護倉庫・絵画「別れの乳房」）	
参 加 者	大潟村赤十字奉仕団 13人	
期 日	11月27日	
会 場	日赤東北看護大学・介護福祉短期大学部 秋田赤十字病院 ヘリポート	
参 加 者	にかほ市金浦赤十字奉仕団	7人
	地区担当職員	3人
	日赤秋田県支部職員	1人

(7) 能代市・八峰町赤十字奉仕団交流研修会

期 日	9月10日	
会 場	湯らくの宿のしろ	
参 加 者	能代市赤十字奉仕団	48人
	能代市二ツ井町赤十字奉仕団	50人
	八峰町八森赤十字奉仕団	18人
	八峰町峰浜赤十字奉仕団	10人
	日赤地区分区担当者	4人
	日赤秋田県支部職員	2人

内 容 赤十字講習会

「地域で支える認知症」

日赤秋田県支部 事業推進課 稲岡 一枝

奉仕団活動報告

「地域包括ケア"ちいきつながり隊！実施報告」

八峰町峰浜赤十字奉仕団 委員長 森田葉子

「秋田赤十字乳児院でヘアカット奉仕活動」

能代市二ツ井赤十字奉仕団 委員長 齊藤正子

レクリエーション

「郷土の紙芝居」

おはなしの会かもめ 山本百合子

(8) 秋田市赤十字奉仕団研修会

期 日 2月19日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 秋田市赤十字奉仕団 42人

日赤秋田県支部職員 1人

内 容 健康生活支援講習

「今後の人生に備えて～人生会議～」

日赤秋田県支部 事業推進課 伊藤成美

(2) 青年奉仕団

勤労青年や大学生等によって組織している青年奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 青年奉仕団全国協議会への参加（Web 会議）

（第1回）

期 日 5月17日

出 席 者 1人

（第2回）

期 日 1月17日

出 席 者 1人

イ 第1ブロック協議会への参加

期 日 6月7日

会 場 いわて県民情報交流センター アイーナ

出席者 1人

ウ 青年奉仕団ボランティア基礎研修会への参加

期 日 12月6日

会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部

出席者 8人

エ その他

- ・献血への呼びかけ活動

(3) 特殊奉仕団

1) 点訳奉仕団

点訳技術の取得者によって組織している点訳奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月16日

会 場 秋田県社会福祉会館

参加者 委員長 吉田圭子

イ 赤十字秋田の点訳

日赤秋田県支部が発行する広報誌「赤十字秋田」を点訳、音声訳、弱視の方のためには拡大複写し、秋田県視覚障害者福祉協会を通じて配布した。(1回発行)

ウ 随時依頼のあったものの点訳

エ 秋田県視覚障害者福祉協会による点字触読講習会の補佐

オ 赤十字キッズタウン2025への参加

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、点字体験コーナーのスタッフとして団員が参加した。

期 日 5月31日

会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部

内 容 点字体験

参 加 者 3人

2) 芸能奉仕団

県内在住の芸能人等によって組織している芸能奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月16日

会 場 秋田県社会福祉会館

参 加 者 委員長 中村久夫

イ 「第54回 愛の芸能祭」の開催

期 日 4月26日

会 場 あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

ウ 秋田県赤十字奉仕団北秋田地区大会アトラクション

期 日 5月14日

会 場 上小阿仁村生涯学習センター

奉仕人員 16人

エ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会アトラクション

期 日 10月22日

会 場 秋田温泉さとみ

奉仕人員 8人

3) アマチュア無線奉仕団

災害時、有線及び携帯による通信が途絶えたとき、アマチュア無線の持つ機動性を活かして奉仕するため、有資格者によって組織しているアマチュア無線奉仕団の活動内容は次のとおりである。

ア 団員相互の通信訓練（感度交換）を随時実施した。

イ 他支部のアマチュア無線奉仕団員との通信訓練（感度交換）を随時実施した。

4) 水上安全法奉仕団

ア 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し、講習会を企画した。

救助員Ⅰ養成講習

期 日 7月18日～20日
会 場 秋田県立総合プール
受 講 者 5人

親子 de レスキュー in 県北

期 日 7月12日
会 場 鷹巣体育館・北秋田市民プール
受 講 者 8人

イ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月16日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 三森幹男

ウ 総会の実施

期 日 4月19日
会 場 日赤秋田県支部 研修室

参 加 者 11人

エ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月21日～22日

会 場 秋田温泉さとみ

参 加 者 1人

オ 役員会の実施

期 日 3月1日

会 場 日赤秋田県支部 研修室

参 加 者 6人

カ その他

- ・小学生に対する着衣泳指導によるボランティア活動

5) 救急法奉仕団

ア 奉仕団主催講習会の実施

支部と連携し、各種講習会に指導員を派遣するほか、奉仕団で主催し、講習会を企画した。

○県北地区

期 日 8月24日

会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ

内 容 基礎講習

受 講 者 7人

期 日 9月20日

会 場 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム

内 容 基礎講習

受 講 者 6人

期 日 11月1日～2日
会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ
内 容 救急員養成講習
受 講 者 4人

○中央地区

期 日 12月6日
会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
内 容 基礎講習
受 講 者 26人

期 日 12月13日～14日
会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
内 容 救急員養成講習
受 講 者 25人

○県南地区

期 日 7月6日
会 場 湯沢市役所
内 容 基礎講習
受 講 者 9人

期 日 7月12日～13日
会 場 湯沢文化会館
内 容 救急員養成講習
受 講 者 7人

イ 赤十字奉仕団委員長会議への参加

期 日 4月16日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 委員長 田口昇

ウ 総会の実施

期 日 4月19日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 20人

臨時総会（文書審議）
期 日 7月18日

エ 地区研修会

○県北地区

期 日 11月1日
会 場 能代ふれあいプラザ・サンピノ
内 容 救急法基礎・救急員養成講習の確認、振り返り
新年度の講習日程・会場検討
出 席 者 8人

○中央地区

期 日 12月6日
会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
内 容 救急法基礎講習学科 Web の確認
出 席 者 4人

○県南地区

期 日 7月12日
会 場 湯沢文化会館
内 容 救急法基礎・救急員養成講習の確認
出 席 者 5人

オ 赤十字キッズタウン2025への参加

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5月31日
会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
内 容 救急法短期講習
参 加 者 5人

カ 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月21日～22日
会 場 秋田温泉さとみ
参 加 者 1人

キ 奉仕団創立40周年記念講演会・祝賀会

期 日 1月17日
会 場 秋田キャッスルホテル
講 師 鶴岡慶子・佐々木芳明
参 加 者 講演会 28人
祝賀会 27人

ク 役員会の実施

期 日 3月1日
会 場 日赤秋田県支部 研修室
参 加 者 10人

6) 災害救護奉仕団

防災ボランティアによって組織している災害救護奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

ア 赤十字奉仕団リーダーシップ研修会への参加

日赤支部事業の赤十字奉仕団リーダーシップ研修会に団員を派遣し、奉仕団員としての知識と技術を学び各奉仕団との連携を確認した。

期 日 10月21日～22日
会 場 秋田温泉さとみ

参 加 者 2 人

イ 赤十字キッズタウン2025への参加

赤十字運動月間イベントとして開催された支部のイベントに、運営スタッフとして団員が参加した。

期 日 5 月31日

会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部

内 容 炊き出しコーナー・車両展示コーナー

参 加 者 3 人

ウ 災害救護訓練への参加

期 日 8 月31日

会 場 小坂町交流センター・セパーム

内 容 秋田県総合防災訓練会場にて、炊き出し訓練への参加

参 加 者 2 人

期 日 10月11日

会 場 男鹿市総合体育館

内 容 日赤第1ブロック支部合同災害救護訓練会場にて、炊き出し訓練への参加

参 加 者 3 人

期 日 1 月31日

会 場 美郷町北体育館

内 容 秋田県冬期防災訓練会場にて、救護班に帯同参加

参 加 者 1 人

エ その他

- ・年間を通じ、災害の発生が懸念される状況において情報収集を実施した。
- ・年間を通じ、市内巡回パトロール活動を実施した。

7) 青少年赤十字賛助奉仕団

元青少年赤十字の指導者によって組織している青少年赤十字賛助奉仕団の活動内容は、次のとおりである。

- ・年間を通じ、青少年赤十字未加盟校に対する加盟促進・啓発活動を実施した。
- ・青少年赤十字指導者協議会との連携を強化した。

(4) 秋田県赤十字有功会

1) 設立年月日等

設立年月日	会 長	副 会 長	
昭和58年1月21日	三戸 俊彦	佐藤 安隆	中嶋 洋子

2) 会員数

個 人	法 人	計
118人	67社	185人・社

入会会員 4人 退会会員 12人

3) 主な活動

ア 役員会

期 日 4月24日
場 所 秋田県社会福祉会館 3階日赤秋田県支部 研修室
出 席 者 8人

イ 総会

期 日 6月20日
場 所 協働大町ビル
出 席 者 26人

ウ 公開講演会

期 日 6月20日
場 所 協働大町ビル

内 容 演題 「モンゴルにおける小児心疾患診療支援
～ハートセービングプロジェクト～」
講師 秋田県赤十字血液センター 所長 田村真通 氏
参 加 者 27人

エ 赤十字活動資金功労表彰伝達式への参加

期 日 6月20日
場 所 協働大町ビル
出 席 者 25人

オ 全国赤十字大会参会

期 日 5月13日
場 所 明治神宮会館（東京都）
出 席 者 1人

カ 秋田県支部事業への助成

・25万円を活動資金として寄付

キ 青少年赤十字活動の推進

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター参加者へ記念品（赤十字マーク入りボールペン）を贈呈

（中学・高校生）

期 日 8月7日～8日
場 所 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
参 加 者 15人

（小学生）

期 日 9月21日
場 所 秋田県立岩城少年自然の家
参 加 者 14人

ク 日赤紺綬・有功会会長協議会総会への参加

期 日 10月3日

場 所 ホテルニューオータニ佐賀（佐賀県）

出 席 者 1 人

ケ 会報「有功秋田」の発行

第74号 令和7年9月発行

コ 新規会員勧誘

新たに有功章を受章された個人・法人へ入会案内

令和7年度 入会会員 4人（個人4人）

サ 会員の慶弔

2件

シ 記念事業等資金積立

5万円を積み立て

9 青少年赤十字（J R C）

1 組 織

秋田県青少年赤十字指導者協議会

（加盟校で構成）

職 名	氏 名	勤 務 校 名	電話番号
会 長	藤 澤 修	秋田県立南高等学校・同中部	018-833-7431
副 会 長	加 藤 長 幸	大館市立早口小学校	0186-54-3033
同	佐 藤 学	秋田市立川尻小学校	018-824-2374
同	鈴 木 和 彦	大仙市立西仙北小学校	0187-75-1014

秋田県青少年赤十字賛助奉仕団

（元青少年赤十字の指導者等で構成）

秋田県青少年赤十字指導者協議会理事会

（地区会長等で構成）

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会

（地区加盟校で構成）

地 区 名	会 長 名	勤務校名	電話番号
鹿角・大館・北秋	加 藤 長 幸	大館市立早口小学校	0186-54-3033
能 代 ・ 山 本	安 部 芳 幸	能代市立淳城西小学校	0185-52-2237
男鹿・潟上・南秋	小 玉 和 彦	男鹿市立男鹿東中学校	0185-25-3215
秋 田 市	佐 藤 学	秋田市立川尻小学校	018-824-2374
由利本荘・にかほ	菊 地 邦 彦	由利本荘市立東由利中学校	0184-69-2410
大 仙 ・ 仙 北	鈴 木 和 彦	大仙市立西仙北小学校	0187-75-1014
横 手 市	稲 川 一 男	横手市立醍醐小学校	0182-25-4204
湯 沢 ・ 雄 勝	黒 澤 進	湯沢市立湯沢東小学校	0183-72-5125

秋田県青少年赤十字地区指導者協議会幹事会

（指導者協議会の幹事で構成）

2 登 録 状 況

（令和8年3月31日現在）

区 分	学 校 数	メ ン バ ー 数（人）
幼稚園・子ども園・保育園	5 0 園	3, 4 9 8
小 学 校	9 8 校	1 6, 3 8 5
中 学 校	5 1 校	7, 7 4 3
高 校 ・ 支 援 ・ 各 種	2 5 校	1, 8 7 2
計	2 2 4 校(園)	2 9, 4 9 8

3 青少年赤十字加盟校（園）一覧

（令和8年3月31日現在）

		園・校種							
		幼稚園	保育園（所）	認定こども園	小 学 校	中学校・義務教育	高校・専修	特別支援	合計
地 域	鹿 角 大 館 北秋田		小坂マリア園 城南保		小 坂 有 浦 山 瀬 花 輪 沢 迦 内 鷹 巣 東 十和田 川 口 米内沢 大 湯 花 岡 合 川 城 南 南 城 西 早 口	小 坂 成 章	大館桂桜	比内支援	22園・校
	小計	0 園 0 人	2 園 145人	0 園 0 人	16校 2,593人	2 校 115人	1 校 14人	1 校 119人	2,986人
	能 代 山 本			愛 慈 幼	淳城西 ニッ井 浜 口 淳城南 琴 丘 湖 北 第 四 森 岳 八 森 第 五 金 岡 峰 浜 向能代 浅 内	能代第一 八 峰 能代第二 藤 里 能代東 琴 丘 能代南 山 本 東 雲 八 竜 ニッ井	能代松陽 能代科学技術	能代支援	29園・校
	小計	0 園 0 人	0 園 0 人	1 園 46人	14校 1,996人	11校 1,320人	2 校 15人	1 校 89人	3,466人
	男 鹿 潟 上 南秋田			(認)追分幼	脇本第一 飯田川 八郎潟 船 越 天 王 大 潟 美 里 追 分	男鹿南 八郎潟 男鹿東 大 潟	秋田西		14園・校
	小計	0 園 0 人	0 園 0 人	1 園 117人	8 校 1,691人	4 校 537人	1 校 13人	0 校 0 人	2,358人
	秋 田	飯島幼 聖使幼	勝平保 こひつじ保 第一ルンビニ園 第二ルンビニ園 牛島ルンビニ園 わかこま第1 わかこま第2 こどものくに ナーサリー-小島の木 上北手	(認)こまどり幼 あきた中央こども園 サン・パティオこども園	川 尻 戸 島 高清水 日 新 東	秋南高等部 山 王	金足農業 秋田北 秋田令和 聖霊学園 秋田クラーク	視覚支援 秋田きらり支援	29園・校
	小計	2 園 95人	10園 767人	3 園 152人	5 校 1,431人	2 校 405人	5 校 173人	2 校 112人	3,135人
	由 利 本 荘		本荘保		小 友 由 利 西 目	東由利			5園・校
	小計	0 園 0 人	1 園 115人	0 園 0 人	3 校 433人	1 校 39人	0 校 0 人	0 校 0 人	587人
	大 仙 北		はなだて保 大曲東保 大曲南保 大曲北保 大曲乳児保 大川西根保 角間川保 藤木保 内小友保 みつば保	(園)なかせんワイワイランド (園)せんぼくちびっころんど (園)おわたわんぱくランド (園)すくすくだけって園 (認)西仙あおぞらこども園 大曲駅前こども園 仙南すこやか園 六郷わくわく園 千畑なかよし園 四ツ屋こども園 大曲中央こども園	大 曲 西仙北 角 館 東大曲 清 水 生保内 花 館 豊 成 神 代 内小友 中 仙 西明寺 大川西根 協 和 桧木内 藤 木 太田東 六 郷 四ツ屋 太田南 千 畑 角間川 太田北 仙 南 神 岡 南 外 高 梨 横 堀	大 曲 角 館 大曲西 生保内 大曲南 神 代 平 和 西明寺 西仙北 桧木内 中 仙 美 郷 協 和 南 外 仙 北 太 田	大曲農業 大曲農業太田分校 大曲工業 角館 秋田修英		70園・校
	小計	0 園 0 人	10園 611人	11園 941人	28校 4,248人	16校 2,395人	5 校 166人	0 校 0 人	8,361人
	横 手		醍醐保 むつみ乳児保	(認)こひつじ むつみ幼保連携型 認定こども園 (認)土屋幼 (認)上宮第一幼 (認)上宮第二幼	横手南 増 田 大 森 朝 倉 浅 舞 山 内 旭 吉 田 栄 醍 醐 横手北 雄物川 大 雄	横手北 増 田 横手南 平 鹿 横手明峰 十文字 横手清陵学院	横手 横手城南 雄物川	横手支援	31園・校
	小計	0 園 0 人	2 園 93人	5 園 270人	13校 2,147人	7 校 1,836人	3 校 1,039人	1 校 33人	5,418人
	湯 沢 雄 勝	双葉幼		湯沢よつばこども園	湯沢東 三 輪 西馬音内 湯沢西 雄 勝 羽後明成 山 田 皆 瀬 高 瀬 稲 川 三 輪	湯沢北 雄 勝 山 田 皆 瀬 湯沢南 羽 後 稲 川 東成瀬	湯沢 湯沢翔北	稲川支援	24園・校
	小計	1 園 80人	0 園 0 人	1 園 66人	11校 1,846人	8 校 1,096人	2 校 23人	1 校 76人	3,187人
	合計	3 園 175人	25園 1,731人	22園 1,592人	98校 16,385人	51校 7,743人	19校 1,443人	6 校 429人	224園・校 29,498人

4 会議・研修会等

(1) 指導者協議会理事会

(第1回)

期 日 5月13日
会 場 秋田県社会福祉会館
出席者 12人(会長・理事、支部職員)

(第2回)

期 日 11月25日
会 場 秋田県社会福祉会館
出席者 11人(会長・理事、支部職員)

(2) 指導者研修会

期 日 5月27日
会 場 秋田県社会福祉会館
出席者 12人(教職員・支部職員)

(3) 全国指導者協議会総会・研修会

期 日 7月4日
会 場 日本赤十字社
参加者 1人(指導者協議会会長)

(4) 青少年赤十字研究会(指導主事対象)

期 日 8月6日
会 場 日本赤十字社
出席者 1人(県教育委員会指導主事)

(5) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(中高生対象)

期 日 8月7日～8日
会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
参加者 中高生15人、指導スタッフ8人

(6) 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(小学生対象)

期 日 9月21日
会 場 秋田県立岩城少年自然の家
参加者 小学生14人、指導スタッフ10人

(7) 第1ブロック青少年赤十字指導者研究会

期 日 10月23日～24日
会 場 日本赤十字社山形県支部
参 加 者 1人（指導者協議会会長）

5 青少年赤十字研究推進校

青少年赤十字研究推進校の委嘱

学 校 名	由利本荘市立 西目小学校	男鹿市立男鹿南中学校
委嘱年度	令和7～8年度	令和6～7年度
研 究 テ ー マ	「ステキ発見 ～ 気付き、考え、実行する子どもの 育成～」	男鹿の未来と自分の将来を考え行動 する、活力のある生徒の育成 ～男鹿南中版ふるさとキャリア教育 「男鹿南ぐるおがる」の取組を通して～

6 高校青少年赤十字協議会

(1) 高校協議会総会・研修会

期 日 6月22日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 17人（高校生12人、指導スタッフ5人）

(2) 健康安全プログラム救急法基礎講習会

- ①期 日 6月21日
会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
参 加 者 1人 ※一般受講者と合同講習
- ②期 日 7月6日
会 場 湯沢市役所本庁舎
参 加 者 6人
- ③期 日 9月20日
会 場 北秋田市民ふれあいプラザコムコム
参 加 者 2人
- ④期 日 3月7日
会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
参 加 者 1人 ※一般受講者と合同講習

(3) 青少年赤十字幼児安全法講習会

日 時 9月13日
会 場 秋田県社会福祉会館
参 加 者 高校生22人、指導スタッフ3人

(4) 青少年赤十字国際交流事業…国際交流集会

日 時 令和7年10月30日～11月3日
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
参 加 者 高校生1人

(5) 海外たすけあい全県一斉街頭募金

期 日 12月13日
会 場 秋田駅東西連絡自由通路ぽぽろード
参 加 者 高校生26人、秋田市赤十字奉仕団10人、支部職員3人

(6) 青少年赤十字スタディー・センター

日 時 3月22日～26日
会 場 山中湖村東照館
参 加 者 高校生1人

(7) 秋田赤十字乳児院施設訪問研修

日 時 3月24日
会 場 秋田赤十字乳児院
参 加 者 高校生13人

7 機関誌の発行

「青少年赤十字秋田第44号」令和8年3月31日発行

10 広報・普及活動

1 印刷物の配布状況

社旨普及のため配布した印刷物は次のとおり

名 称	配布数（部）	配 布 先
赤 十 字 N E W S	25,200	各地区・分区、有功章会員、法人会員 奉仕団員、青少年赤十字加盟校 他
毎 戸 チ ラ シ	340,000	全世帯
会 員 募 集 の 手 引	12,000	各地区・分区の奉仕者
パンフレット（要覧）	28,500	各地区・分区の奉仕者
支部機関紙「赤十字秋田」	80,000	各地区・分区、有功章会員、法人会員 奉仕団員青少年赤十字加盟校、献血者 他

2 報道機関等を通じての広報

5月の赤十字運動月間を中心に、報道機関を通じて次の広報活動を行った。

- ・広告の掲載 9社の協力を得て「秋田魁新報」へ広告を掲載〔5/1朝刊〕
- ・テレビスポットの放映

局 名	広 報 内 容
秋 田 テ レ ビ (株)	5月に本社作成の運動月間用スポットを使用。
(株) 秋 田 放 送	
秋 田 朝 日 放 送 (株)	

3 イベントの実施

赤十字運動月間を中心に支部と施設等がタイアップし次のイベントを実施した。

(1) レッドライトアッププロジェクト2025

場 所 ポートタワーセリオン
期 日 5月1日～5月15日
内 容 県民への赤十字の周知や「人道」に関する理解の促進を図ることを
目的に、ランドマークとなる施設の協力のもと、赤十字マークのラ
イトアップを実施した。

(2) 赤十字キッズタウン2025 ～赤十字のお仕事を体験しよう！～

会 場 日本赤十字東北看護大学・介護福祉短期大学部
期 日 5月31日
対 象 幼稚園年中児童～小学生
参加人数 149人
内 容 ・子どもの赤十字のお仕事体験コーナー
・ドクターヘリ見学
・赤十字PRコーナー
・炊き出し体験コーナー
・救急法体験コーナー
・ハートラちゃんワッペン作りコーナー
・点字体験コーナー
・災害救援車両等展示コーナー

4 インターネットの活用

ホームページやSNSで赤十字活動の周知を図った。

ホームページアドレス等については次のとおり

【ホームページアドレス等】

ホームページアドレス	https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/
代表メールアドレス	info@akita.jrc.or.jp
ホームページの内容	・行事紹介 ・赤十字講習の受付 ・赤十字マークについて ・事業紹介 ・赤十字の歴史 ・義援金（受付状況）等

【YouTube】

URL	https://www.youtube.com/channel/UCko3xsoA52A4SmO86QNf5Mg
動画の内容	・「教えて！病気や健康のこと！」 ・事業報告・決算 ・事業計画・予算 等
登録者数	439人（令和8年3月31日現在）

【X】（旧 Twitter）

URL	https://twitter.com/akita_redcross
投稿内容	日々の業務内容
登録者数	741人（令和8年3月31日現在）

【Instagram】

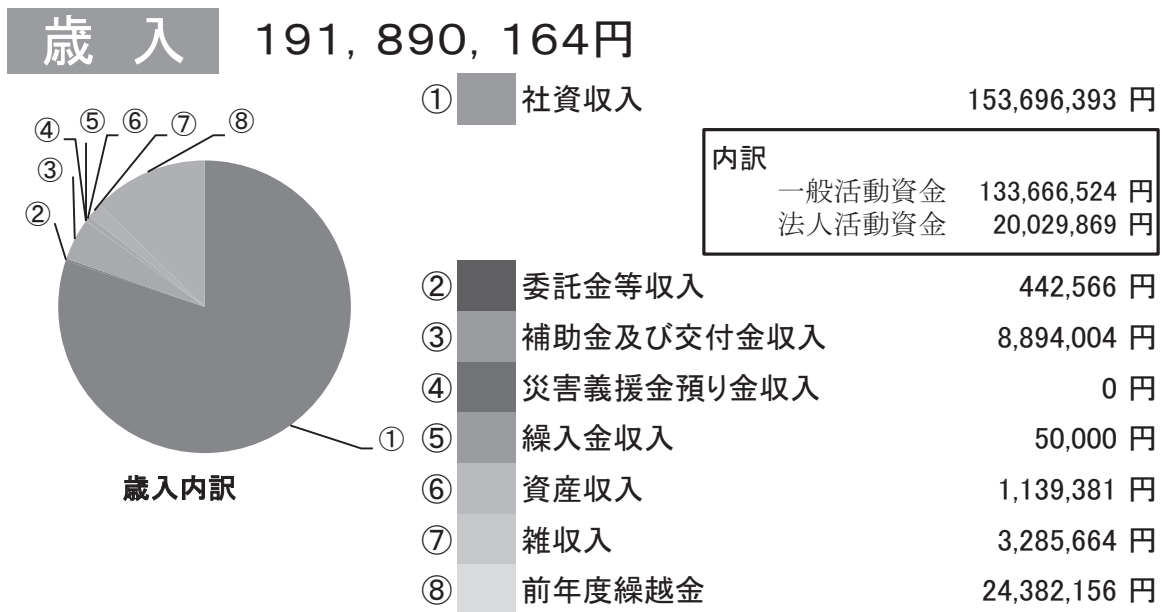
URL	https://www.instagram.com/nisseki_akita/
投稿内容	日々の業務内容
登録者数	615人（令和8年3月31日現在）

5 動画の制作（YouTube に掲載）

- (1) がん検診のススメ
～「教えて！病気や健康のこと！」
秋田赤十字病院の専門医が分かりやすく解説～
- (2) 災害時に迅速に救護活動ができるよう、平時から備えています。
（令和 5 年度日赤秋田県支部救護員研修会）
- (3) 服を着たまま、水に落ちたらどうする??
～赤十字水上安全法から、命を守る方法をご紹介します！～
- (4) 【終活・遺贈寄付】想いを未来につなぐ遺贈寄付
～あなたの社会貢献のかたち～
- (5) 令和 6 年度 事業報告・決算
- (6) 令和 7 年度 事業計画・予算

令和7年度秋田県支部
歳入歳出決算概要

歳入額	191,890,164円
歳出額	160,535,396円
収支残	31,354,768円



歳入－歳出＝31,354,768円は翌年度(令和8年度)当初の活動運営資金になります。

11 医 療 事 業

(秋田赤十字病院)

1 概 要

令和 7 年度の指針は「秋田県の中核病院として、高度で安全な医療の提供に努めるとともに、赤十字の使命である災害医療救護にも積極的に取り組み、地域との厚い信頼を築く」とし、具体的施策には、1) 質の高い医療の提供、2) 災害医療救護体制の充実、3) 病院経営の健全化、4) 地域医療への貢献、を掲げた。

上記各施策の評価としては、

1) 安心で安全な、質の高い医療が提供されたと考えられる。ドクターヘリ事業は、要請件数401件に対して出動件数249件・未出動件数152件と、前年度と比較し要請件数、出動件数ともに減少したが、クマ外傷による出動件数は令和 6 年度の 7 件から14件に倍増した。未出動は天候不良によるものが最も多い。

2) 災害医療救護としての救護班派遣は幸いなことになかった。しかし、院内外様々な訓練に参加し、いつ起こるか分からない災害に対し準備を行った。

3) 入院患者数および外来患者数は前年度より減少した。収支は、退職給付引当金の戻入れが12億 8 千万円あった影響で、医業収支、経常収支、病院収支とも決算書上は黒字であったが、実態は赤字決算となっており、依然として病院経営は厳しい状況が続いている。

4) 病院機能としては、高度急性期・急性期の医療を実践している。また、地域医療支援病院として、医療機関相互の適切な機能分担及び機能連携を図るため、状態の安定した患者は積極的に地域の医療機関に逆紹介している。令和 7 年度は前年比282人増の6,607人の紹介を受け（紹介率75.1%）、その後に逆紹介した（逆紹介率114.1%）。

2 医 療 活 動

医師数は120名を超えるが診療科による偏在があり、県内外から応援を得て医療活動がなされた。一方、医師が充足している診療科では、県内医療機関から要請があれば応じるようにしており、令和 7 年度は17箇所の医療機関へ医師を派遣した。

許可病床数は447床で、一般医療が311床、県の委託を受けて運営する政策医療が136床（救命救急50床、周産期56床、神経病30床）である。標榜科は令和 8 年 4 月 1 日付で小児外科の標榜を取り下げ、30科となった。

病院附属の健診施設として秋田市中通地区にあきた健康管理センターがあるが、令和 7 年 3 月末をもって健診受け入れを休止、同年 4 月末をもって閉院となった。

平成20年 5 月から17年間運営を行ってきたが、施設設備ならびに医療機器等の老朽化によ

り多額の設備投資が必要となったこと、医師・看護師等の確保が難しくなっていること、また、県内の人口減により受診者数の減少が見込まれることなどから休止および閉院の判断となったものである。本院の健康増進センターへ健診部門を集約することで対応した。

令和7年度の入院患者数は延べ134,460人と前年度に比べて1,847人減少した。診療報酬改定等の影響により病棟再編を行い、病床を削減した影響が大きい。一日平均入院患者数も前年度の373.4人から368.4人になった。病床利用率は、87.1%（前年度比2.0pt 増）だった。平均在院日数は12.0日と0.6日短縮した。外来患者数は延べ173,334人で前年度より727人減少した。患者の地域別割合では、前年同様秋田市が外来、入院とも約4分の3を占めており、その他の地域も前年度と変わりなかった。

救急患者数は15,595人で前年度より690人減少、救急からの入院は前年度より171人増加した。救急車による搬送数は前年度の3,582件から3,637件と55件増加した。

秋田県全体の分娩件数は年々減少傾向にあるが、県内分娩取り扱い施設の減少もあり、令和7年度は542件と前年度より1件減少にとどまった。

手術室で行われた手術件数は3,428件で前年度より129件増加し、全身麻酔手術数は2,313件で93件増加した。全身麻酔下による緊急手術も380件実施された。これにより令和7年4月1日付で取得した高度専門的医療・急性期医療の提供体制を十分に確保している医療機関を評価した診療報酬施設基準の「急性期充実体制加算2」を維持することができた。今後も緊急手術実施体制を維持・強化していくため不足している麻酔科医の確保が喫緊の課題である。

人間ドックなどの健診事業については、本院で12,186人（前年度比3,283人増）の健診を行った。令和6年度までは附属あきた健康管理センターで約1万人の健診を行っていたため、全体では6,978人の受診者数減少となった。これまで附属あきた健康管理センターを受診していた受診者の再獲得などを含め、新規受診者の獲得が課題である。

診療収益は、入院が103億4千8百万円（前年度比2億1千5百万円の増）、外来が40億6千9百万円（前年度比1億6千2百万円の増）だった。診療単価は、入院76,963円、外来23,477円だった。病院収支としては、収入が165億4百万円（前年度比4億7千8百万円の増）、支出が153億6千1百万円（前年度比1億8千7百万円の増）で11億4千2百万円の黒字となったものの、退職給付引当金戻入れの影響を除くと実質的には赤字の状況であった。

令和8年度も世界情勢や物価高騰等の影響を受け、病院を取り巻く環境は厳しい状態が続くことが予想されるが、医療の安定的な提供を行うため病院経営の健全化に取り組んでまいりたい。

3 令和7年度実績

(1) 科別患者延数

(単位：人)

	総合診療	腎臓内科	代謝内科	血液内科	神経内科	呼吸器内科
入院	1,115	1,814	2,193	10,762	13,092	8,565
外来	2,856	13,064	10,746	6,226	7,893	9,920

	肝胆膵	消化管	循環器内科	腫瘍内科	精神科	小児科
入院	7,693	5,402	9,356	2,386	0	2,569
外来	4,352	10,384	7,092	1,858	8,917	5,955

	新生児科	消化器外科	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外科	小児外科
入院	5,885	11,904	1,864	2,449	0	0
外来	320	9,564	6,203	2,370	400	215

	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産科
入院	18,348	1,884	5,342	766	5,367	6,881
外来	13,711	4,812	2,490	8,545	10,776	5,175

	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	全科合計
入院	2,588	0	2,629	0	3,606	134,460
外来	5,917	2,269	8,762	1,001	1,541	173,334

(2) 救命救急センター患者取扱状況

(単位：人)

	救急患者	来院方法			来院時間		
		救急車	へり	その他	時間内	時間外	深夜(再掲)
交通事故	279	169	17	93	95	184	27
急病	12,667	2,820	37	9,810	3,675	8,992	1,675
その他	2,649	648	26	1,975	828	1,821	246
計	15,595	3,637	80	11,878	4,598	10,997	1,948

	患者の状況				
	帰宅	一般外来	入院	転送	死亡
交通事故	220	0	56	2	1
急病	9,293	8	3,241	48	77
その他	2,091	1	540	5	12
計	11,604	9	3,837	55	90

(3) 分娩、手術関係

	件数	備考
分娩	542	
出生	563	
手術	3,428	手術室におけるもの
死亡	487	外来死亡90件含む
剖検	5	剖検率 1.3%

(4) 健診部の活動、その他

	外来ドック	入院ドック	健康診断	生活習慣病	特定健診	婦人科検診	その他健診等
件数	6,482	1,168	446	3,060	32	456	259

	特定保健指導	ストレスドック	フォローアップ健診	各種教室等	その他
件数	253	14	16	0	0

	乳児健診	予防接種	母親学級	栄養相談	救護
件数	602	181	454	2,435	3

(5) 地域別実患者数

全患者内訳

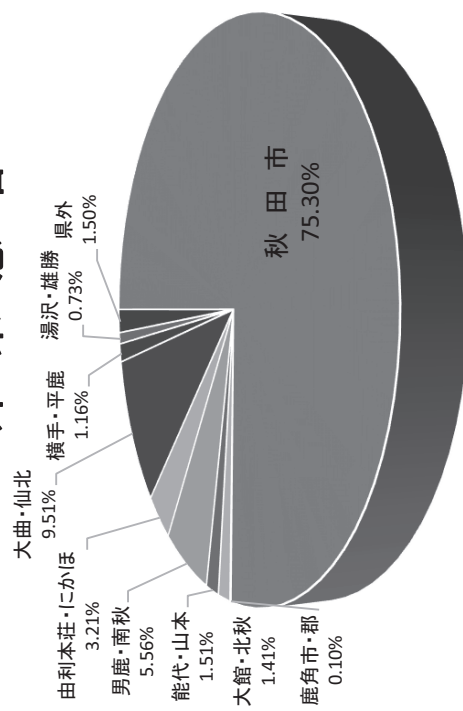
地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
秋田市	24,608	75.30%	5,696	74.68%	30,304
鹿角市・郡	34	0.10%	7	0.09%	41
大館・北秋	461	1.41%	95	1.25%	556
能代・山本	494	1.51%	118	1.55%	612
男鹿・南秋	1,816	5.56%	439	5.76%	2,255
由利本荘・にかほ	1,050	3.21%	215	2.82%	1,265
大曲・仙北	3,109	9.51%	720	9.44%	3,829
横手・平鹿	380	1.16%	106	1.39%	486
湯沢・雄勝	237	0.73%	63	0.83%	300
県外	491	1.50%	168	2.20%	659
総合計	32,680	100.00%	7,627	100.00%	40,307

秋田市内訳

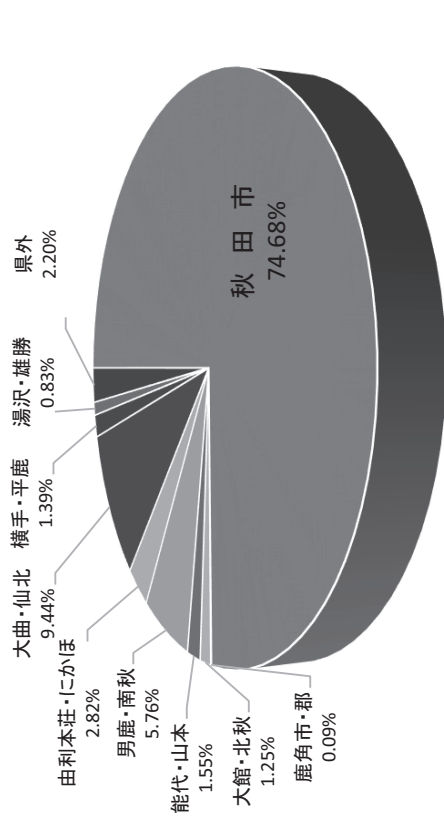
地域別	外来		入院		合計
	実患者数	比率	実患者数	比率	
中央地区	3,290	13.37%	781	13.71%	4,071
東部地区	6,164	25.05%	1,439	25.26%	7,603
西部地区	2,014	8.18%	509	8.94%	2,523
南部地区	8,334	33.87%	1,751	30.74%	10,085
北部地区	1,935	7.86%	450	7.90%	2,385
河辺・雄和	2,871	11.67%	766	13.45%	3,637
秋田市合計	24,608	100.00%	5,696	100.00%	30,304

全患者内訳

外来患者

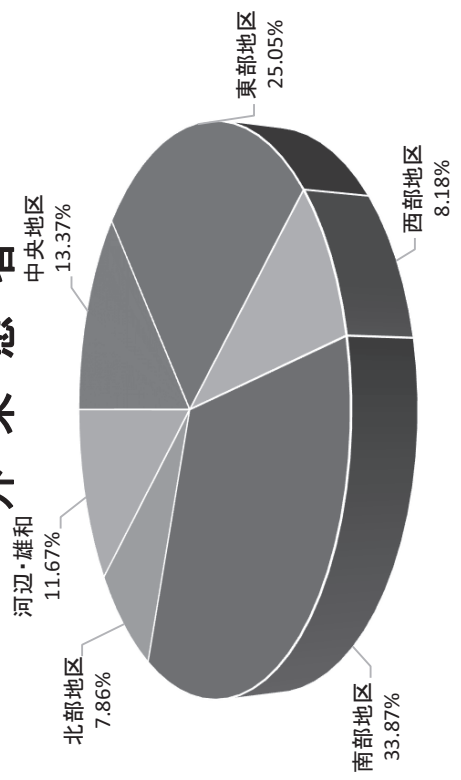


入院患者

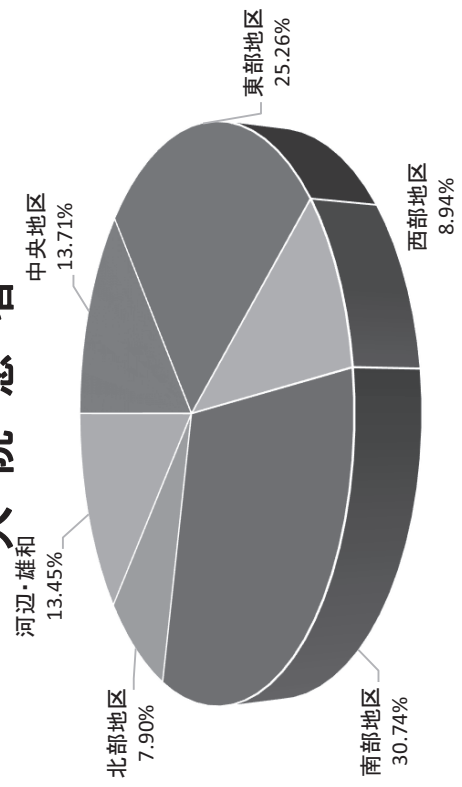


秋田市内訳

外来患者



入院患者



12 血 液 事 業

(秋田県赤十字血液センター)

1 概 要

秋田県では、「安全な血液製剤の安定供給の確保等による法律」に基づき、「秋田県血液事業 推進計画」を定め、血液製剤の安全性の確保及び適正使用の推進に努めた。医療機関に対しては、血液製剤を安定的に供給するため、医療需要に基づく必要血液量を過不足なく確保することが大切であることから、400mL 献血、成分献血を中心として計画的かつ効率的な確保に向けた事業の推進を行った。

(1) 献血推進と実績について

- ア 令和 7 年度の献血実績は、200mL 献血637人、400mL 献血22,761人、成分献血11,658人、合計35,056人となり、事業計画を378人（計画比98.9%）下回った。
- イ 令和 7 年度は、移動採血車における特に大型商業施設等で実施した「街頭献血」での献血協力者数が減少した。血液センターでは、広く県民に対する献血協力の依頼や献血に関する情報の発信、また、県・市町村と連携を図りながら献血者の確保に努めた。
- ウ 少子高齢化が進む中、若年層（10代から30代）の献血協力者数が減少している。若年層に対して献血の理解と協力を得るため、秋田市教育委員会等に、各小中高等学校での献血セミナーの実施や献血協力の必要性を説明し、ご理解を得て秋田市学校長会において、セミナー実施の依頼を実施した。

(2) 輸血用血液製剤の供給について

- ア 県内医療機関への血液製剤の供給は、赤血球製剤49,693単位、血漿製剤12,019単位、血小板製剤74,830単位、合計136,542単位となり前年度より6,295単位増加した。血小板製剤が大きく増加していた。大館鹿角地域の医療機関には、広域事業運営体制により青森県赤十字血液センター弘前出張所から血液製剤を供給しており、内訳としては赤血球製剤3,790単位、血漿製剤302単位、血小板製剤5,330単位、合計9,422単位となる。
- イ 令和 7 年は全国の血液センターで配送ミスなどの過誤が多く発生して、各センターで手順を確認し改善に努めた。
- ウ 医療機関向けの会議として10月に輸血管理実務担当者会議を開催した。前年と同じで27施設から参加があった。

2 令和 7 年度実績

(1) 令和 7 年度 献血方法別目標及び実績

(単位：人)

区 分	目 標	実 績	過 不 足	達 成 率
200 mL 献 血	496	637	141	128.4%
400 mL 献 血	23,533	22,761	△ 772	96.7%
成 分 献 血	11,405	11,658	253	102.2%
合 計	35,434	35,056	△ 378	98.9%
献 血 量 (L)	15,861.0	16,291.6	430.6	102.7%

(2) 令和 7 年度 献血方法別実績前年度比較

(単位：人)

区 分	令和 7 年度実績	令和 6 年度実績	増 減	前 年 度 比
200 mL 献 血	637	691	△ 54	92.2%
400 mL 献 血	22,761	23,526	△ 765	96.7%
成 分 献 血	11,658	12,207	△ 549	95.5%
合 計	35,056	36,424	△ 1,368	96.2%
献 血 量 (L)	16,291.6	17,033.9	△ 742.3	95.6%

(3) 月別・性別献血状況、献血できなかった人数の内訳

(単位：人)

区分	月												合 計	比 率	
	総 数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月			3 月
申 込 者 数	総 数	3,209	3,326	3,260	3,452	3,280	3,062	3,206	3,203	3,492	3,124	2,861	3,194	38,669	100.0%
	男	2,234	2,291	2,275	2,340	2,332	2,087	2,175	2,217	2,373	2,221	1,999	2,205	26,749	69.2%
	女	975	1,035	985	1,112	948	975	1,031	986	1,119	903	862	989	11,920	30.8%
献 血 者 数	総 数	2,901	3,000	2,888	3,037	2,956	2,797	2,888	2,949	3,189	2,896	2,609	2,946	35,056	90.7%
	男	2,103	2,174	2,126	2,177	2,198	1,993	2,030	2,106	2,266	2,114	1,888	2,113	25,288	65.4%
	女	798	826	762	860	758	804	858	843	923	782	721	833	9,768	25.3%
か 献 血 だ け 人 数 な	総 数	308	326	372	415	324	265	318	254	303	228	252	248	3,613	9.3%
	男	131	117	149	163	134	94	145	111	107	107	111	92	1,461	3.8%
	女	177	209	223	252	190	171	173	143	196	121	141	156	2,152	5.6%
内 血 色 素 不 足	総 数	153	172	222	227	171	135	175	122	156	111	140	133	1,917	53.1%
	男	43	35	72	52	57	29	53	36	38	38	43	30	526	14.6%
	女	110	137	150	175	114	106	122	86	118	73	97	103	1,391	38.5%
そ の 他	総 数	155	154	150	188	153	130	143	132	147	117	112	115	1,696	46.9%
	男	88	82	77	111	77	65	92	75	69	69	68	62	935	25.9%
	女	67	72	73	77	76	65	51	57	78	48	44	53	761	21.1%

(注) 申込者数は献血者数・献血できなかった人数の合計である。
 献血者数・献血できなかった人数の割合は、申込者総数に対する比率である。また、男女の割合は、申込者総数に対する比率である。
 内訳の割合は献血できなかった人数の総数に対する比率である。

(4) 保健所別献血者状況

(単位：人)

項目	合 計			全 血 献 血				成 分 献 血				献 血 量 (L)		
	目 標 数	申込者数	目 標 率	日 標 数	申込者数	200mL 献 血	400mL 献 血	計	日 標 率	日 標 数	申込者数	献 血 者 数	日 標 数	日 標 率
保健所														
大 館 保 健 所	2,485	2,705	98.9%	2,485	2,705	89	2,368	2,457	98.9%	0	0	0	984.2	98.0%
北 秋 田 保 健 所	771	817	95.6%	771	817	32	705	737	95.6%	0	0	0	305.4	94.4%
能 代 保 健 所	1,589	1,675	96.2%	1,589	1,675	39	1,489	1,528	96.2%	0	0	0	628.6	96.0%
秋田中央保健所	1,075	1,086	91.9%	1,075	1,086	14	974	988	91.9%	0	0	0	425.0	92.3%
由利本荘保健所	1,887	1,984	95.1%	1,887	1,984	10	1,785	1,795	95.1%	0	0	0	747.0	95.9%
大 仙 保 健 所	2,486	2,750	99.4%	2,486	2,750	17	2,454	2,471	99.4%	0	0	0	984.4	100.1%
横 手 保 健 所	2,099	2,221	94.4%	2,099	2,221	37	1,945	1,982	94.4%	0	0	0	831.4	94.5%
湯 沢 保 健 所	1,418	1,437	91.6%	1,418	1,437	21	1,278	1,299	91.6%	0	0	0	560.8	91.9%
秋 田 市 保 健 所*	21,624	23,994	100.8%	10,219	11,208	378	9,763	10,141	99.2%	11,405	12,786	11,658	10,394.2	106.2%
合 計	35,434	38,669	98.9%	24,029	25,883	637	22,761	23,398	97.4%	11,405	12,786	11,658	15,861.0	102.7%

※秋田市保健所には、固定施設の献血パーク るう及びアトリオン献血ルームを含む。

(5) 年齢別・性別献血状況

(単位：人)

	献 血 者 数			男			女		
	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計
16 ～ 19歳	459	776	81	1,316	3.8%	72	472	43	587
20 ～ 29歳	157	3,280	763	4,200	12.0%	10	2,250	477	2,737
30 ～ 39歳	12	3,668	1,579	5,259	15.0%	2	2,604	1,191	3,797
40 ～ 49歳	5	5,144	2,631	7,780	22.2%	0	3,718	2,046	5,764
50 ～ 59歳	4	6,647	4,197	10,848	30.9%	1	4,768	3,221	7,990
60 ～ 69歳	0	3,246	2,407	5,653	16.1%	0	2,406	2,007	4,413
計	637	22,761	11,658	35,056	100.0%	85	16,218	8,985	25,288

(6) 職業別・性別献血状況

(単位：人)

	献 血 者 数			男			女		
	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計	比 率	200mL 献 血	400mL 献 血	成分献血	計
公 務 員	28	5,049	2,029	7,106	20.3%	2	4,133	1,886	6,021
会 社 員	60	12,360	6,173	18,593	53.0%	6	9,249	5,009	14,264
高 校 生	350	183	13	546	1.6%	63	123	4	190
大 学 生	120	680	296	1,096	3.1%	7	386	202	595
そ の 他	79	4,489	3,147	7,715	22.0%	7	2,327	1,884	4,218
計	637	22,761	11,658	35,056	100.0%	85	16,218	8,985	25,288

(7) 年度別輸血用血液製剤供給状況（県内）

ア 令和 7 年度 供給計画及び実績

（単位：本）

区 分	計 画	実 績	差 異	計画実績比
全 血 製 剤	0	0	0	0.0%
赤 血 球 製 剤	50,675	49,693	△ 982	98.1%
血 漿 製 剤	13,678	12,019	△ 1,659	87.9%
血 小 板 製 剤	63,420	74,830	11,410	118.0%
合 計	127,773	136,542	8,769	106.9%

（注）数値は200mL 換算数である。

イ 令和 7 年度 供給実績前年度比較

（単位：本）

区 分	令和 7 年度実績	令和 6 年度実績	増 減	前年度比
全 血 製 剤	0	0	0	0.0%
赤 血 球 製 剤	49,693	50,218	△ 525	99.0%
血 漿 製 剤	12,019	12,829	△ 810	93.7%
血 小 板 製 剤	74,830	67,200	7,630	111.4%
合 計	136,542	130,247	6,295	104.8%

（注）数値は200mL 換算数である。

13 乳児院の運営

(秋田赤十字乳児院)

1 概 要

様々な事情により家庭で育てることが出来ない、0歳からの乳幼児をお預かりし、24時間体制で養育をしている児童福祉施設である。夜間等の緊急時における一時保護機能も有している。

主な入所理由は、ここ数年の傾向として虐待を受けた子どもたちの入所が多くなっており、入所児全体の半数近くを被虐待児が占めている。他の入所理由としては、未婚や父母の病気等によるものである。

すべての子どもたちは家庭的な環境のもと養育されることが心身の発達にとって重要であり、令和7年度に当院を退所した措置児童10人のうち、家庭復帰した子どもは3人、里親家庭へ委託された子どもは6人であった。

保護者の病気等により実親の元へ帰ることが出来ない子どもたちのために、里親制度の推進事業に力を注いだ。令和2年度から秋田県より受託しているフォスティング機関（里親養育包括支援）事業では、里親制度普及促進事業として里親制度を広く知っていただくため、秋田公立美術大学と共同でポスター展を県内各地で延べ23箇所288日間にわたり開催した。里親サロン事業は延べ22回124人の里親を対象に実施し、地域の里親の養育スキル向上を図った。

里親支援専門相談員を中心に入所児童の里親委託を推進し、アフターケアとして家庭訪問やSNSを用いて継続的な支援を行った。

地域に必要とされる施設を目指し、子育て支援事業の充実をはじめ、中・高生等の体験学習、看護大生・保育士・栄養士等の実習生やボランティア等の受け入れも当院の特色と捉え推進した。

コロナ禍で活動を中止していた子育て支援事業（ショートステイ、デイケア、プレママサロン、育児サークル）を順次再開し、地域の子育て支援の一役を担った。

国の推進する家庭的養育の推進を図るため、令和5年度にはばんび室を、令和6年度にはばんだ室を改修し、風呂、トイレ、キッチン、玄関を設置して家庭的な養育環境を整備した。

2 利用状況

(令和8年3月31日現在)

(1) 入退所の状況

(単位：人)

区 分	入 所 人 数			退 所 先 及 び 退 所 人 数				年 度 末 在 所 人 数 (A - B)
	前年度からの入所数	新規入所数	計 (A)	家 庭	里 親	施 設 (当院を含む)	計 (B)	
措 置	19	11	30	3	6	1	10	20
一時保護	2	10	12	7	0	3	10	2
計	21	21	42	10	6	4	20	22

(注) 一時保護から当院に措置となった児童3人を含む。

(2) 新規入所理由の状況

(単位：人)

区 分	虐待	父母の疾病	未婚	その他	計
措 置	3	3	4	1	11
一時保護	6	4	0	0	10
計	9	7	4	1	21

(注) 「その他」の内容：児童自身の障害

(3) 市町別在所状況

(単位：人)

秋田市	能代市	大館市	男鹿市	鹿角市	由利本荘市	大仙市	計
12	2	1	2	1	1	3	22

3 過去5年間の利用状況

(単位：人)

内 訳 \ 年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
前年度からの入所	18	18	21	19	21
入 所	24	24	28	21	21
退 所	23	21	28	19	20
年 度 末 人 数	19	21	21	21	22

(注) 一時保護児童数を含むが、その内一時保護から当院に措置となった児童数は含まない。

4 子育て支援事業

事 業 名	利 用 状 況 等
電 話 相 談 8:30 - 23:00	18件 内容：基本的生活習慣・発育発達・医学的問題・生活の環境・育児の方法
シ ョ ー ト ス テ イ	18人延べ53日
デ イ ケ ア	18人延べ25日
プ レ マ マ サ ロ ン	30組58人
育児サークル「愛あいクラブ」	4組10人

5 主な年間行事

行 事 名	期 日	場 所	対 象 児
お 花 見	4月18日	院 内	乳児以外全員
こどもの日	5月5日	院 内	全員
院 外 保 育	6月25日	大 森 山 動 物 園	4 人
七夕の集い	7月7日	院 内	全員
院 外 保 育	9月5日	ザ ・ ブ ー ン	9 人
町内会納涼祭	9月6日	町 内 会	15人
院 外 保 育	9月22日	男 鹿 水 族 館	4 人
院 外 保 育	9月25日	男 鹿 水 族 館	4 人
運 動 会	10月4日	院 庭	全員
お 月 見	10月6日	院 内	全員
院 外 保 育	10月20日	秋 田 駅	4 人
院 外 保 育	10月22日	大 森 山 動 物 園	4 人
院 外 保 育	10月22日	秋 田 駅	3 人
ハロウィン	10月31日	院 内	全員
七五三撮影会	11月7日	院 内	5 人
院 外 保 育	11月10日	木のおもちゃ館	4 人
院 外 保 育	11月14日	木のおもちゃ館	3 人
院 外 保 育	11月17日	ザ ・ ブ ー ン	4 人
クリスマス会	12月24日	院 内	全員
お 正 月	1月1日	院 内	全員
節 分	2月3日	院 内	全員
ひ な 祭 り	3月3日	院 内	全員

6 ボランティアの受入れ

種 別	受 入 れ 状 況
個 人	14人 253回
団 体	13団体 (延人数325人)

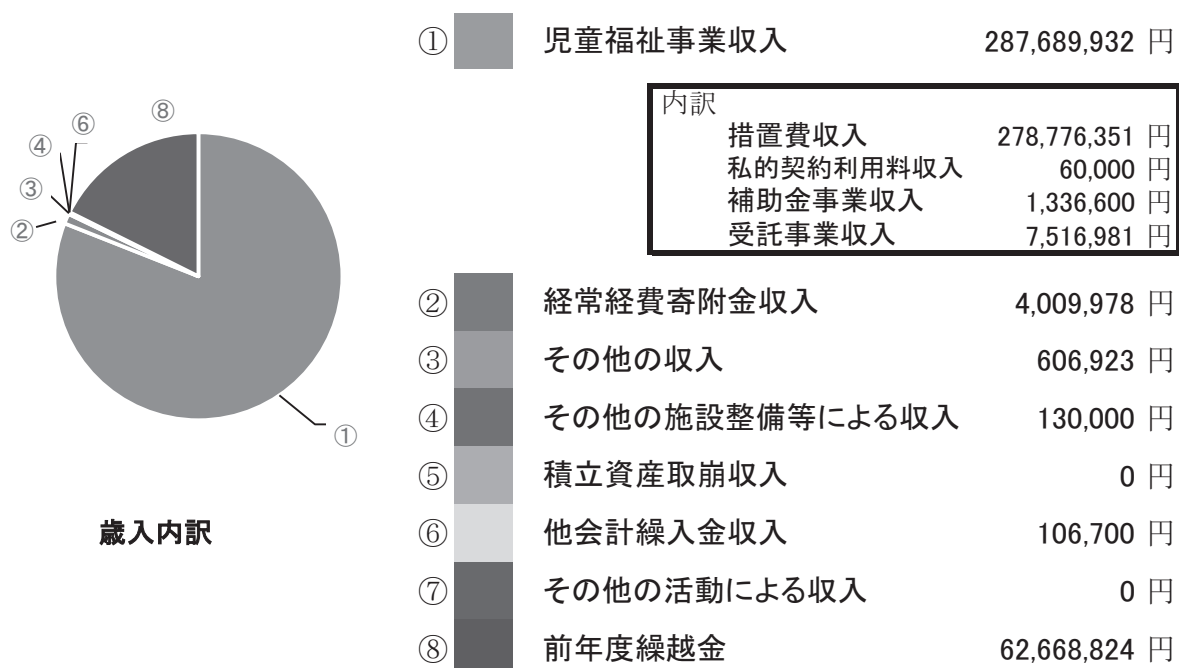
7 幼児安全法講習会の開催

開催日	受講者数(人)	対 象
4月2日	2	職 員
6月2日	1	職 員
6月22日	13	一 般
8月12日	2	職員・学生
10月26日	8	一 般
合 計	26	

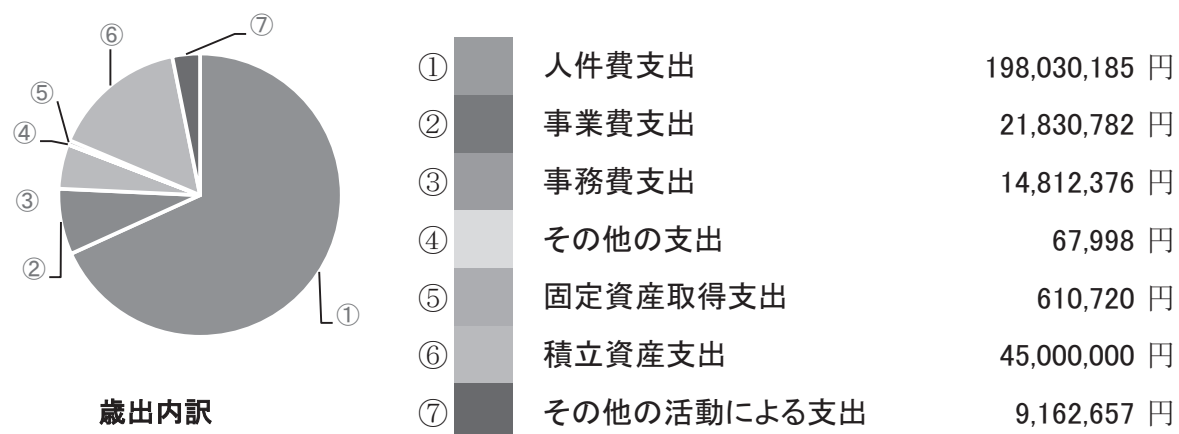
令和7年度秋田赤十字乳児院 歳入歳出決算概要

歳入額	355,212,357円
歳出額	289,514,718円
収支残	65,697,639円

歳入 355,212,357円



歳出 289,514,718円



14 日本赤十字社秋田県支部現勢

(令和8年3月31日現在)

1 沿革

明治20年（1887）11月3日…日本赤十字社
秋田県委員部設立
明治29年（1896）7月1日…日本赤十字社
秋田支部に改称
昭和27年（1952）10月31日…日本赤十字社
秋田県支部に改称

2 会員数（含：協力会員） 個人 138,251人
法人 573社

3 評議員 29人

4 役員

支部長 鈴木 健太
副支部長 神部 秀行・齊藤 滋宣
本社理事 野口 良孝
本社代議員 江畑 佳明・黒崎 義雄
齊藤 正子・田口 昇
支部監査委員 芦田 晃輔・佐藤 敬

5 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	メンバー数
幼保こども園	50 園	3,498人
小 学 校	98 校	16,385人
中 学 校	51 校	7,743人
高 等 学 校 等	19 校	1,443人
特別支援学校	6 校	429人
計	224園（校）	29,498人

6 赤十字奉仕団

区 分	団 数	団員数
地 域	53団	10,228人
青年（学生）	6団	67人
特 殊	7団	233人
計	66団	10,528人

7 秋田県赤十字有功会員 個人 118人
法人 67社

8 講習等普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
防災セミナー	47回	1,730人	59人
救 急 法	152回	5,946人	77人
健康生活支援	58回	2,224人	28人
水上安全法	50回	1,419人	25人
幼児安全法	37回	468人	35人
雪上安全法	1回	17人	1人
計	345回	11,804人	225人

9 国際活動

- ・第一ブロック支部共同事業（資金援助）
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン 他

10 災害救護

災害対策本部要員	33人	
救護班要員	9 班	74人
血液供給要員	2 人	
無線局（基地局含）	150MHz	31局
	400MHz	18局
救護車両	6 台	
備蓄救援物資	毛 布	1,550枚
	タオルケット	2,196枚
	緊急セット	1,032個
	安眠セット	641個

11 医療事業（秋田赤十字病院）

内 訳	総 病 床 数	447床
	一般医療	311床
	救命救急医療	50床
	周産期医療	56床
	神経病医療	30床
入 院	134,460人	
	1 日平均	368.4人
外 来	173,334人	
	1 日平均	719.2人

12 血液事業（秋田県赤十字血液センター）

献血ルーム	2 施設（血液センター、アトリオン献血ルーム）		
移動採血車	3 台		
献血者数（延人数）		供給本数（200mL 献血由来換算）	
200mL献血	637人	赤血球製剤	49,693本
400mL献血	22,761人	血漿製剤	12,019本
成分献血	11,658人	血小板製剤	74,830本
計	36,056人	計	136,542本

13 社会福祉施設（秋田赤十字乳児院）

定 員	24人
年度末在所児童数	22人

14 職員数（嘱託・臨時職員等は除く、令和8年4月1日現在）

日本赤十字社秋田県支部	10人
秋田赤十字病院	779人
秋田県赤十字血液センター	44人
秋田赤十字乳児院	20人
計	853人

15 会計（令和8年度当初予算）

支 部	192,736千円	
病 院	収益の収入	16,992,724千円
	収益の支出	17,560,852千円
乳 児 院	歳 入	381,692千円
	歳 出	307,443千円

日本赤十字社秋田県支部

〒010-0922 秋田市旭北栄町1番5号
TEL 018 (864) 2731 FAX 018 (864) 6852
URL <https://www.jrc.or.jp/chapter/akita/>
E-mail info@akita.jrc.or.jp

秋田県赤十字血液センター

献血パークるうぷ

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反233番186号
TEL 018 (865) 5541 FAX 018 (865) 5585
URL <https://www.bs.jrc.or.jp/th/akita/>

秋田赤十字病院

〒010-1495 秋田市上北手猿田字苗代沢222-1
TEL 018 (829) 5000 FAX 018 (829) 5255
URL <http://www.akita-med.jrc.or.jp/>

アトリオン献血ルーム

〒010-0001 秋田市中通二丁目3番8号
(アトリオン1階)
TEL 018 (836) 7811 FAX 018 (836) 7812

秋田赤十字乳児院

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100番地3
TEL 018 (884) 1760 FAX 018 (884) 1762
URL <http://www.akita-nyuji.jrc.or.jp/>
E-mail info@akita-nyuji.jrc.or.jp

<案 内 図>

